

TS-WPTCAM2

画面で見るマニュアル

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

注意

管理者パスワード変更のお願い

セキュリティ強化のため、管理者パスワードの変更をお願いします。

初めに本製品に添付の取扱説明書でカメラ映像が見られる状態にしてください。その後、変更します。

詳しくは「[管理者パスワードの変更方法](#)」46 ページをご覧ください。

- 本マニュアルでは、本製品の詳しい使い方や設定について説明しています。
スマートフォン/タブレット用カメラアプリ「QwatchView」の使い方については、「QwatchView」の画面で見るマニュアルをご覧ください。
⇒ <http://www.iodata.jp/lib/manual/qwatchview/>



アカウントについて	5
ユーザー権限と概要	6
各機能の使い方	7
操作パネルについて	8
映像を保存する	10
ローカルに写真を保存する	10
ローカルに録画する	11
LAN DISKに写真を保存する/映像を録画する	13
SDカードに写真を保存する/映像を録画する	16
パン・チルト（首振り）を利用する	19
準備>>>パン・チルトの設定をする	19
パン・チルト（首振り）を利用する	20
パトロール機能を利用する	21
準備>>>プリセットの設定をする	21
準備>>>パトロールの設定をする	22
パトロール機能を利用する	23
プライバシー機能を利用する	24
準備>>>プライバシーの設定をする	24
プライバシー機能を利用する	25
暗視機能を利用する	26
動作検知機能を利用する	28
準備>>>動作検知の設定をする	28
準備>>>範囲設定をする	29
準備>>>スケジュール設定をする	31
準備>>>FTP設定をする	32
準備>>>メール設定をする	33
動作検知機能を利用する	34
デジタルズームする	35
カメラを共有する	37
1.QRコードを作成する	37
2.カメラを登録する	40
詳細な設定をする	42
Wi-Fiルーターに手動で接続する	43
IPアドレスの変更方法	45
管理者パスワードの変更方法	46
アカウントの編集方法	47
アカウントの追加/編集/削除する	47
アカウントの権限設定をする	48
ファームウェアのバージョンアップ方法	49

自動更新する場合（初期設定）	49
手動更新する場合	49
初期設定に戻す方法	52
設定画面で戻す場合	52
カメラのスイッチで戻す方法	53
天井に固定する方法	54
設定画面のリファレンス	55
基本設定	56
ネットワーク	56
無線設定	57
iobb.net設定	58
RTSP	59
時刻設定	59
メール設定	60
ビデオ	61
映像設定	61
表示設定	62
暗視設定	62
プライバシー設定	63
音量設定	63
動作検知	64
動作検知設定	64
範囲設定	65
スケジュール機能設定	66
FTP設定	66
保存設定	67
保存先設定	67
スケジュール機能設定	67
LAN DISK保存設定	68
SDカード保存設定	69
SDカードファイル管理	70
ローカル保存設定	71
パン・チルト	72
パン・チルト設定	72
パトロール設定	73
プリセット設定	74
ホームポジション設定	74
システム	75
システム設定	75
詳細設定	76
システム情報	77
カメラ共有	78

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

アカウント管理	79
ユーザー設定	79
権限設定	80
匿名ログイン設定	81
困ったときには	82
困ったときには	83
設定画面の開き方	90
Windowsの場合	90
macOSの場合	95
アフターサービスについて	97
お問い合わせ方法	97
修理を依頼する方法	98

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

アカウントについて

ユーザー権限と概要 6 ページ

ユーザー権限と概要

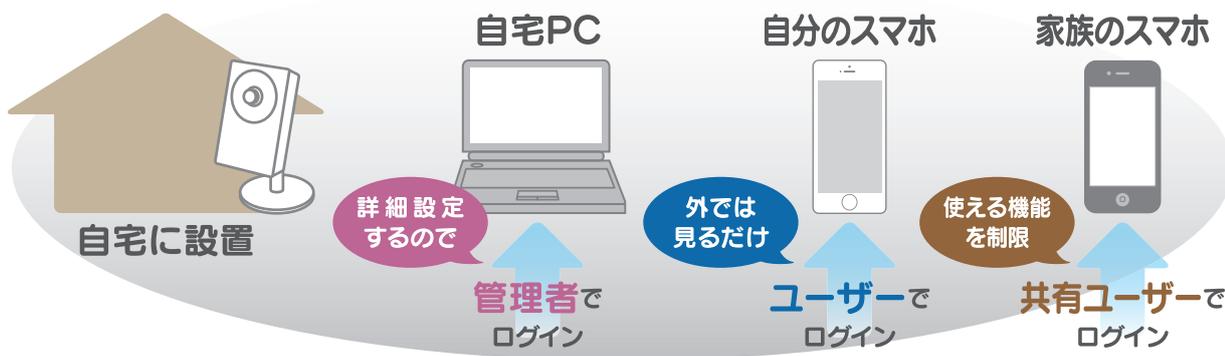
本製品には管理者権限のアカウントが1つ設定されています。

添付の「かんたん接続シート」上のQRコードでカメラを登録すると、管理者権限になります。

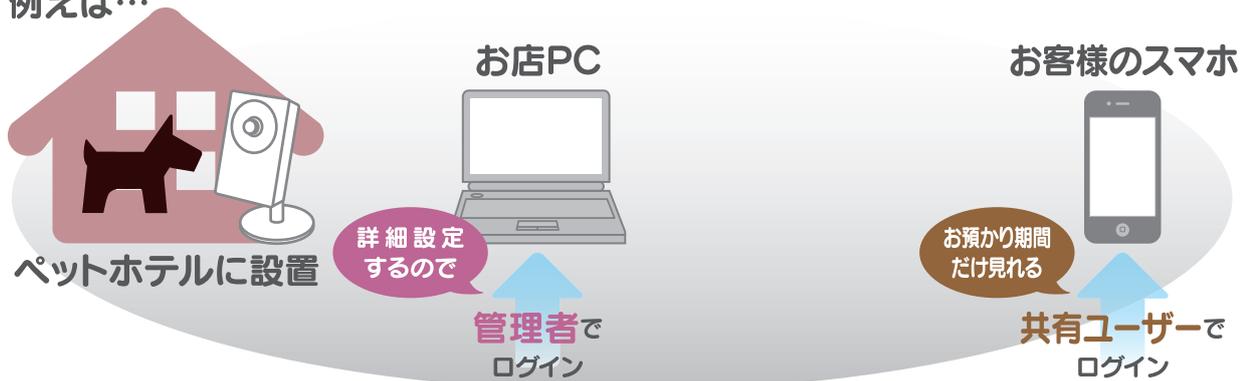
ご利用用途にあわせてユーザー権限のアカウントを作成し利用すると、安全にカメラ映像を共有することができます。

ユーザー権限	使用権限	ユーザー名	パスワード
管理者	本製品のすべての機能が使用できます。本製品の管理者がご利用ください。	admin	本製品のMACアドレス（初期設定）
ユーザー	本製品の設定画面以外のすべての機能を操作できます。また、用途にあわせて、操作できる機能を制限することもできます。（「 アカウントの権限設定をする 」P.48参照）	出荷時は設定されていません。 必要に応じてユーザー権限のアカウントを作成してください。（「 アカウントの追加/編集/削除する 」P.47参照）	
(共有ユーザー)	ユーザー権限のアカウントに、視聴期間の制限を追加したアカウントです。（「 カメラを共有する 」P.37参照） ユーザー権限のアカウントに設定されている機能を操作することができます。	出荷時は設定されていません。 必要に応じてユーザー権限のアカウントを作成してください。（「 アカウントの追加/編集/削除する 」P.47参照）	

例えば…



例えば…



アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

各機能の使い方

操作パネルについて	8 ページ
映像を保存する	10 ページ
パン・チルト（首振り）を利用する.....	19 ページ
パトロール機能を利用する.....	21 ページ
プライバシー機能を利用する	24 ページ
暗視機能を利用する	26 ページ
動作検知機能を利用する.....	28 ページ
デジタルズームする	35 ページ
カメラを共有する.....	37 ページ

操作パネルについて

操作パネルでは写真の保存など各機能の操作がおこなえます。

WEBブラウザにより表示される機能が異なります。Internet Explorerでは、すべての機能をご利用いただけます。



パン・チルト操作ボタン	
	カメラを上下左右に動かします。H をクリックすると設定した位置（ホームポジション）に戻ります。 （「パン・チルト（首振り）を利用する」 P.19参照）
プリセット	
	カメラの向きを登録しておく、プリセットボタンの番号を押すだけでカメラの向きを変更することができます。 （「準備>>>プリセットの設定をする」 P.21参照）
一巡	
	パトロールモードに設定した範囲を、一巡します。 （「準備>>>プリセットの設定をする」 P.21参照）
ローカル保存（Internet Explorerでのみ表示）	
	画像(静止画)を撮影し、ローカルのドライブに保存します。
	表示されている映像(動画)をローカルのドライブに保存します。クリックすると、録画を開始します。同様にクリックすると録画を停止し、保存します。

LAN DISK/SDカード保存	
	<p>画像(静止画)を撮影し、LAN DISKまたはSDカードに保存します。</p> <p>※ 事前にカメラの設定画面で保存先の設定をしてください。(「LAN DISKに写真を保存する/映像を録画する」 P.13参照、「SDカードに写真を保存する/映像を録画する」 P.16参照)</p> <p>※ 初期設定：SDカード</p>
	<p>映像(動画)をLAN DISKまたはSDカードに保存します。</p> <p>クリックすると、録画を開始します。もう一度、クリックすると録画を停止します。</p> <p>※ 事前にカメラの設定画面で保存先の設定をしてください。(「LAN DISKに写真を保存する/映像を録画する」 P.13参照、「SDカードに写真を保存する/映像を録画する」 P.16参照)</p> <p>※ 初期設定：SDカード</p>
画面 (Internet Explorerでのみ表示)	
	映像を全画面表示します。
	拡大の有効/無効および拡大率を設定します。
モード	
	<p>パトロール機能をオン/オフします。</p> <p>※ 事前にカメラの設定画面でパトロール機能を設定しておく必要があります。(「パトロール機能を利用する」 P.21参照)</p>
	<p>プライバシー機能をオン/オフします。</p> <p>※ 事前にカメラの設定画面でプライバシー機能を「有効」に設定しておく必要があります。(「プライバシー機能を利用する」 P.24参照)</p>
	<p>暗視機能への自動切り替え機能が「有効」(初期設定)になっている場合は、周りの明るさを感知し、自動的に暗視に切り替わります。</p> <p>※ クリックすると、カメラの自動切り替え機能の「有効」⇔「無効」を切り替えます。</p> <p>※ 自動切り替え機能が「有効」になっていても、カメラの周りが明るい場合は暗視に切り替わりません。</p>
	<p>動作検知機能をオン/オフします。</p> <p>※ 事前にカメラの設定画面で動作検知の設定しておく必要があります。(「動作検知機能を利用する」 P.28参照)</p>
	パン・チルトの動作方向を反転します。
カメラのマイク音量	
	<p>カメラのマイクの音量を選択します。</p> <p>アイコンをクリックするとミュート(消音)します。</p>

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もぐもぐ戻る

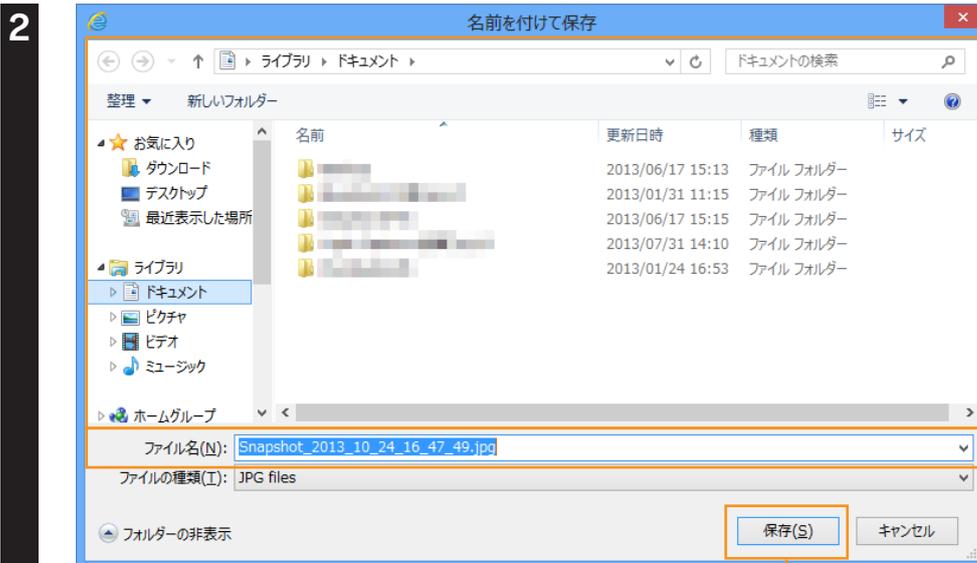
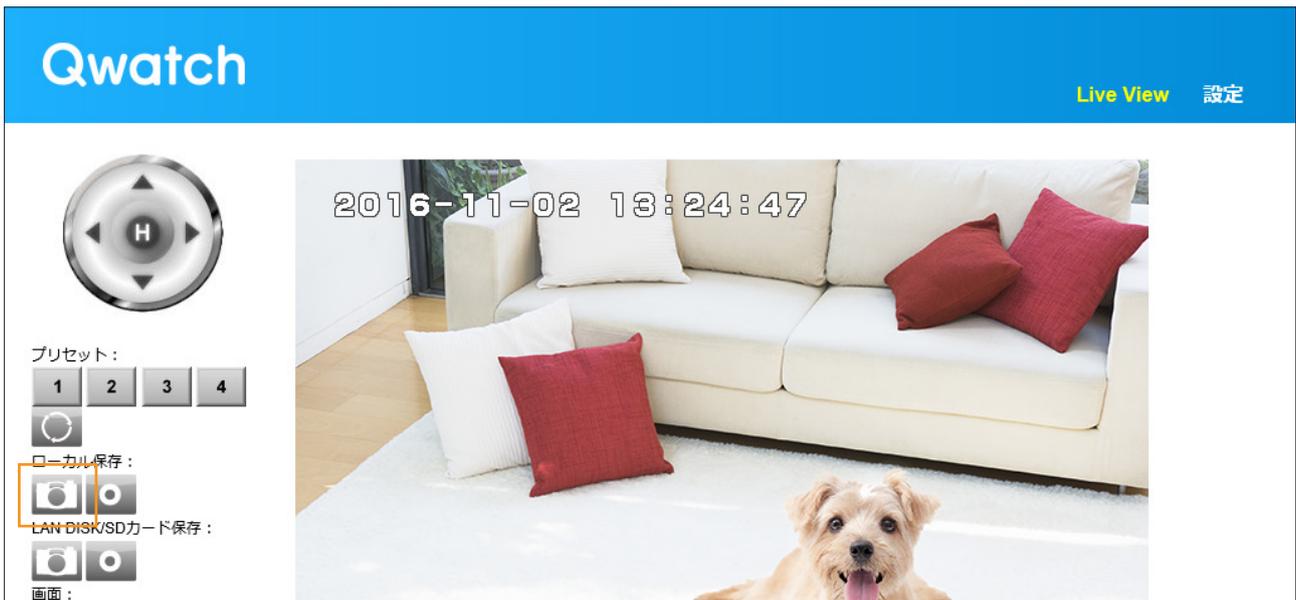
映像を保存する

ローカルに写真を保存する

表示されている画像(静止画)をローカルのドライブに保存します。

※ 本機能はInternet Explorerでのみ利用可能です。

- 1 ① Internet Explorerでカメラのライブ映像を表示する
- ② 撮影したいタイミングで「ローカル保存」の  (写真を保存) アイコンをクリック



※ ファイル形式：JPEG

※ ファイル名：Snapshot_ (撮影日時)

以上で写真の保存は完了です。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

ローカルに録画する

映像をパソコンに録画する手順を説明します。

※ 本機能はInternet Explorerでのみご利用可能です。

1 Internet Explorerでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

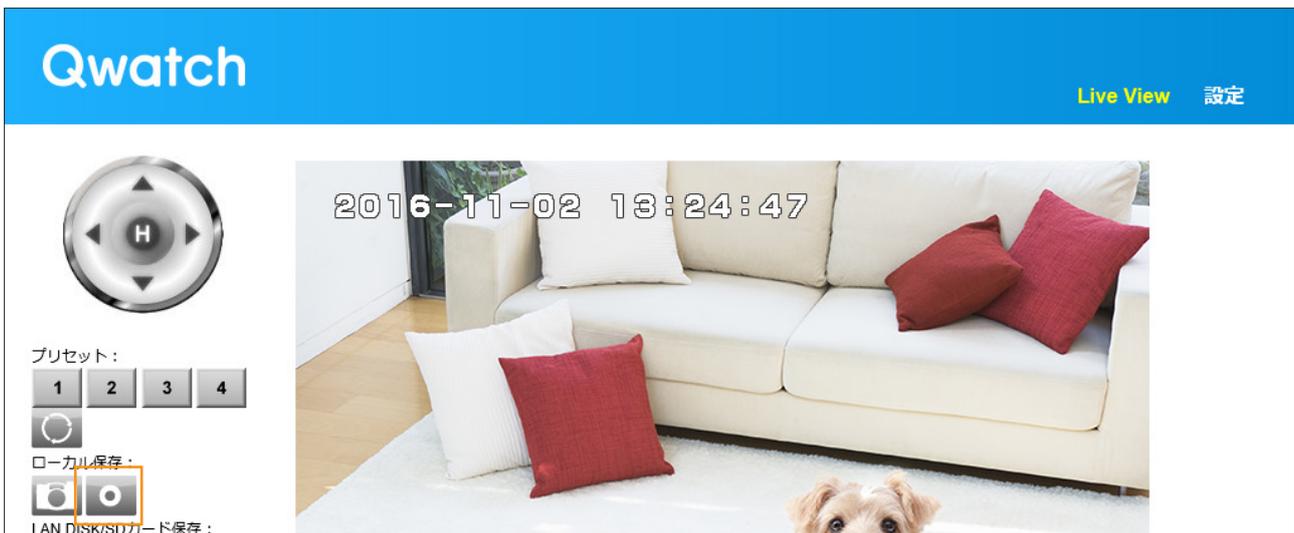
- 2 ① [設定] をクリック
- ② [保存設定] → [ローカル保存設定] の順にクリック



- ③ [ローカル保存設定] の各項目を設定
- ④ [設定] をクリック
- ⑤ [Live View] をクリック

ローカル保存設定	
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。（3分/10分/30分/指定なしから選択） [指定なし]を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。
1ファイル当たりの最大サイズ	1ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。

3 録画したいタイミングで「ローカル保存」の (録画) アイコンをクリック



アカウントについて

各機能の使い方

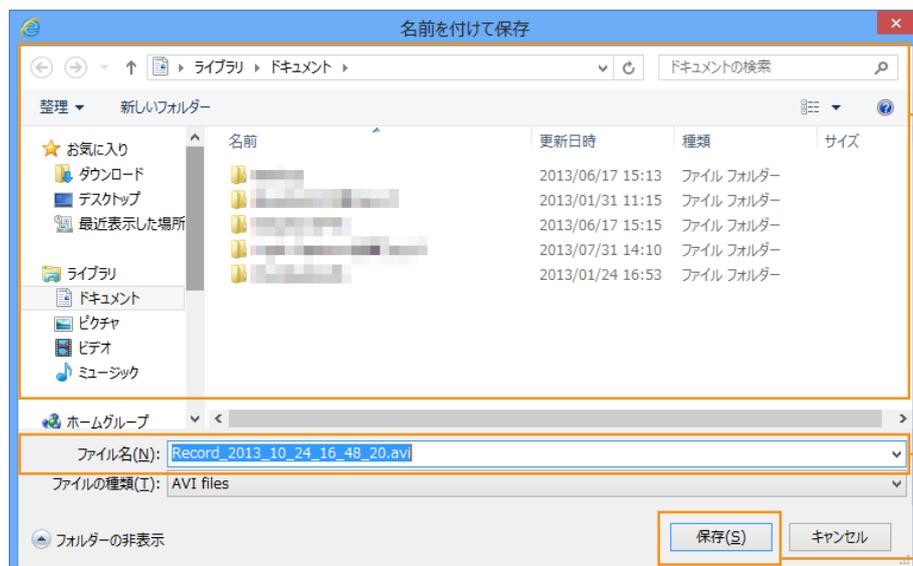
詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もぐもぐ戻る

4



① 保存先フォルダーを選択

② ファイル名を変更する場合は好きな名前を入力

③ [保存] をクリック

5 録画を停止したいタイミングで (停止) アイコンをクリック

- ※ 「録画の自動停止時間」の設定をしている場合は、 (停止) アイコンをクリックせずに待ちます。設定した時間で自動的に録画が止まります。また、「録画の自動停止時間」の設定をしている場合でも  (停止) アイコンをクリックすると、すぐに録画を停止します。
- ※ ファイル形式： MJPEGまたはH264 ([「映像設定」61 ページ](#)で設定)
- ※ ファイル名： Record_ (撮影日時)

以上で映像の録画は完了です。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐり戻る

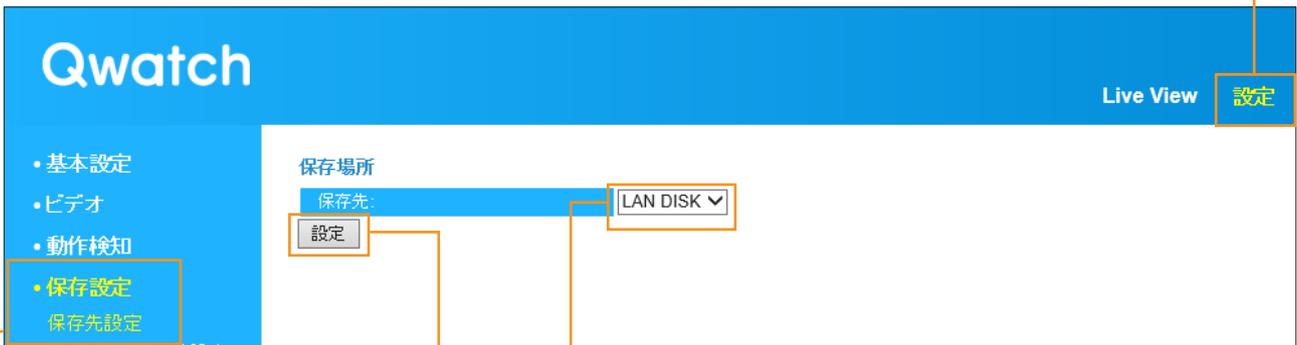
LAN DISKに写真を保存する/映像を録画する

カメラの設定画面にて保存先を登録し、LAN DISKに映像を保存します。

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

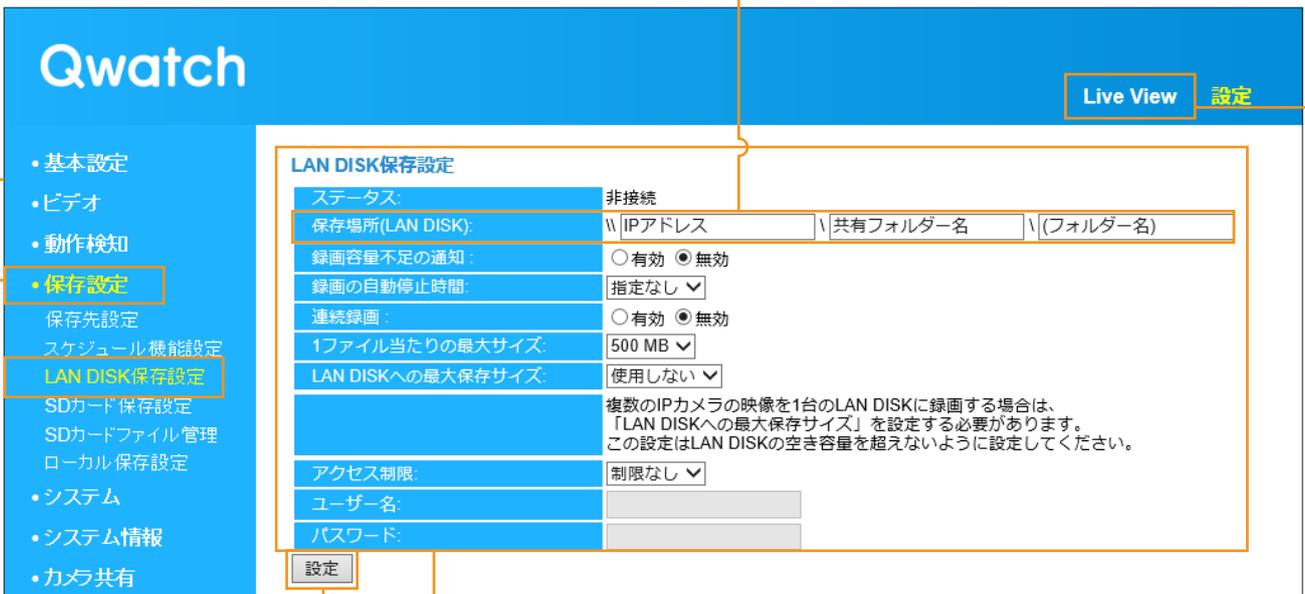
※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

- 2 ① [設定] をクリック
- ② [保存設定] → [保存先設定] の順にクリック



- ③ [LAN DISK] を選択
- ④ [設定] をクリック

- 3 ① [保存設定] → [LAN DISK保存設定] の順にクリック
- ② [保存場所 (LAN DISK)] に入力されている“IPアドレス” “共有フォルダー名” “(フォルダー名)” の文字を削除



- ③ [LAN DISK保存設定] の各項目を設定（次ページ参照）
- ④ [設定] をクリック
- ⑤ [Live View] をクリック

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐりに戻る

LAN DISK保存設定				
ステータス	LAN DISKの接続状態を表示します。 ※ [設定] をクリック後、接続状態が反映されるまで、しばらく時間がかかります。			
	<table border="1"> <tr> <td>非接続</td> <td>LAN DISKにファイルを保存できない状態です。LAN DISKが非接続または未設定または設定内容が間違っています。</td> </tr> <tr> <td>接続</td> <td>LAN DISKにファイルを保存できる状態です。</td> </tr> </table>	非接続	LAN DISKにファイルを保存できない状態です。LAN DISKが非接続または未設定または設定内容が間違っています。	接続
非接続	LAN DISKにファイルを保存できない状態です。LAN DISKが非接続または未設定または設定内容が間違っています。			
接続	LAN DISKにファイルを保存できる状態です。			
保存場所	<p>保存先LAN DISKのIPアドレスとフォルダー名を入力します。 (\\ IPアドレス \ 共有フォルダー名 \ (フォルダー名))</p> <p>※ ルートフォルダーに保存する場合は、「\ (フォルダー名)」は不要です。 ※ フォルダーおよびファイルを含めたフルパスで256文字まで入力できます。 ※ 保存先フォルダー名は半角英数字で指定します。</p> <p>例) 以下の場所を保存先に指定する場合、「\\192.168.0.200\disk\camera」と入力します。</p> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;"> </div>			
録画容量不足の通知	<p>有効にすると、録画容量が足りなくなった場合に、メールでお知らせします。</p> <p>※ メール設定はカメラの設定画面の [基本設定] → [メール設定] でおこないます。(「メール設定」P.60参照)</p>			
録画の自動停止時間	<p>選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。(3分/10分/30分/指定なしから選択)</p> <p>[指定なし]を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。</p>			
連続録画	<p>有効にすると、連続で録画します。</p> <p>※ 容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して(上書きして)、録画を続けます。</p>			
1ファイル当たりの最大サイズ	<p>1ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。 (10/50/100/300/500MBから選択)</p>			
LAN DISK への最大保存サイズ	<p>録画で使用する容量を制限する設定です。1台のLAN DISKに対して複数のカメラで録画をおこなう場合に設定します。 (使用しない/10GB/50GB/100GB/250GB/500GB/750GB/1000GBから選択)</p>			
アクセス権限	制限なし/制限ありを選択します。			
	<table border="1"> <tr> <td>制限あり</td> <td>保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定されている場合に選択します。LAN DISKに登録したユーザー名とパスワードを設定します。</td> </tr> <tr> <td>制限なし</td> <td>保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定していない場合に選択します。</td> </tr> </table>	制限あり	保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定されている場合に選択します。LAN DISKに登録したユーザー名とパスワードを設定します。	制限なし
制限あり	保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定されている場合に選択します。LAN DISKに登録したユーザー名とパスワードを設定します。			
制限なし	保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定していない場合に選択します。			
ユーザー名	上記、アクセス制限を [制限あり] にした場合、LAN DISKに登録したユーザー名とパスワードを入力し、設定します。			
パスワード				

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

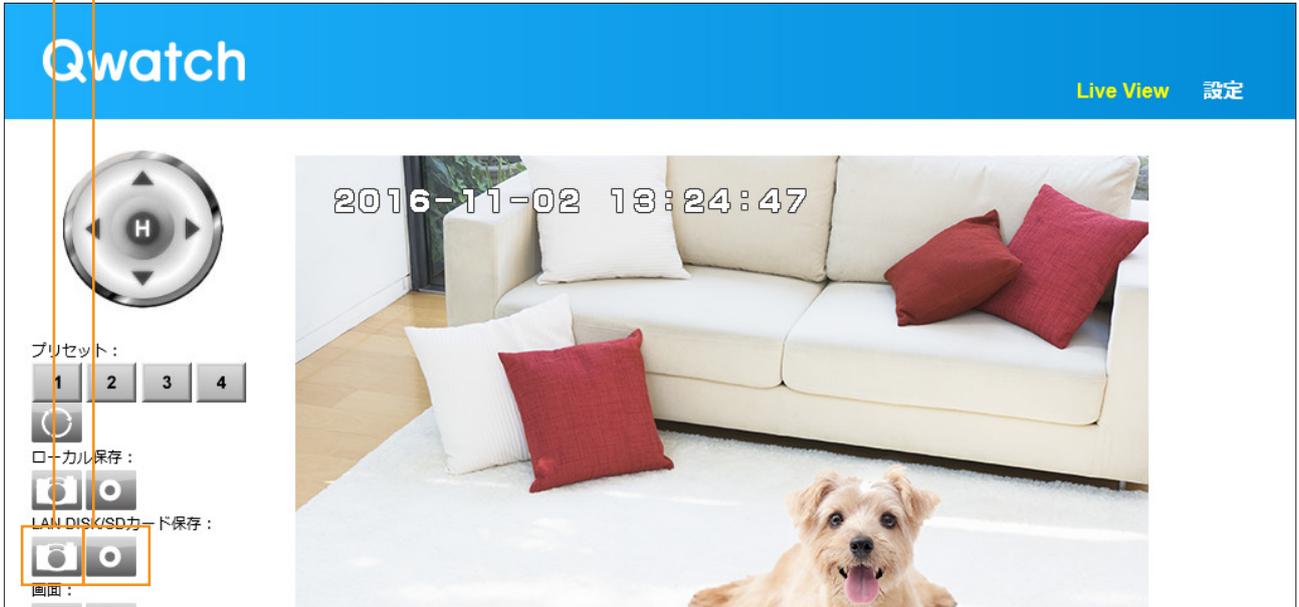
もくじに戻る

4

写真を保存する場合 ▶ 撮影したいタイミングで「LAN DISK/SDカード保存」の  (LAN DISK/SDカードへ写真を保存) アイコンをクリック

- ※ ファイル形式：JPEG
- ※ ファイル名：Snapshot_ (撮影日時)

映像を録画する場合 ▶ 撮影したいタイミングで「LAN DISK/SDカード保存」の  (LAN DISK/SDカードへ録画) アイコンをクリック



アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

5

映像を録画する場合のみ ▶ 録画を停止したいタイミングで  (停止) アイコンをクリック

- ※ 「録画の自動停止時間」の設定をしている場合は、 (停止) アイコンをクリックせずに待ちます。設定した時間で自動的に録画が止まります。また、「録画の自動停止時間」の設定をしている場合でも  (停止) アイコンをクリックすると、すぐに録画を停止します。
- ※ ファイル形式：MJPEGまたはH264 (「映像設定」61 ページで設定)
- ※ ファイル名：Record_ (撮影日時)

設定画面のリファレンス

困ったときには

以上で映像のLAN DISKへの保存は完了です。

注意

LAN DISKに録画中に通信障害が発生すると、録画中のデータが壊れる可能性があります。そのため、LAN DISKへの録画する際は、カメラを有線LANルーターへ接続し、「1ファイル当たりの最大サイズ」の設定を小さく設定することをお勧めします。

もくじに戻る

ヒント

映像設定により録画時間は異なります。
「困ったときには」 - 「録画時間の目安について」87 ページを参照し、設定してください。



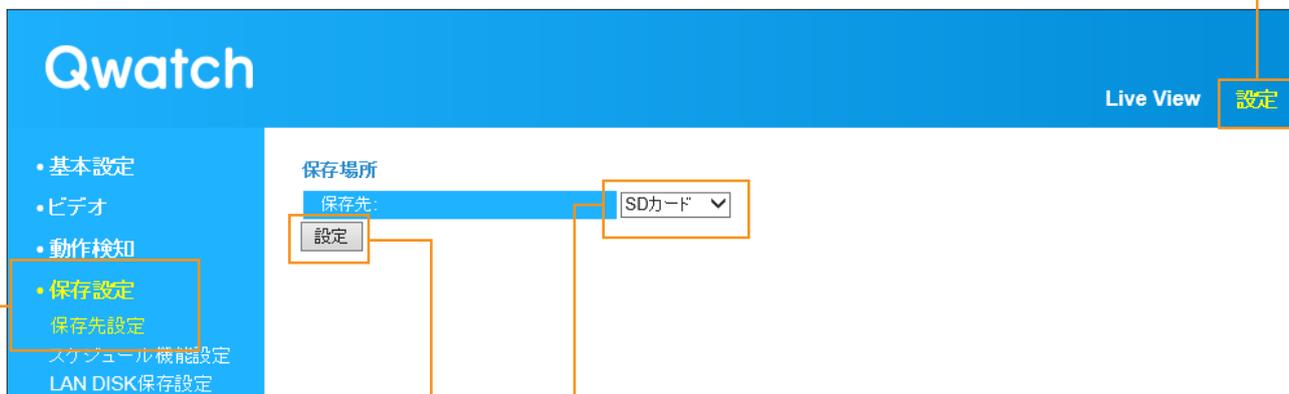
SDカードに写真を保存する/映像を録画する

カメラの設定画面にて保存先を登録し、映像を保存します。

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

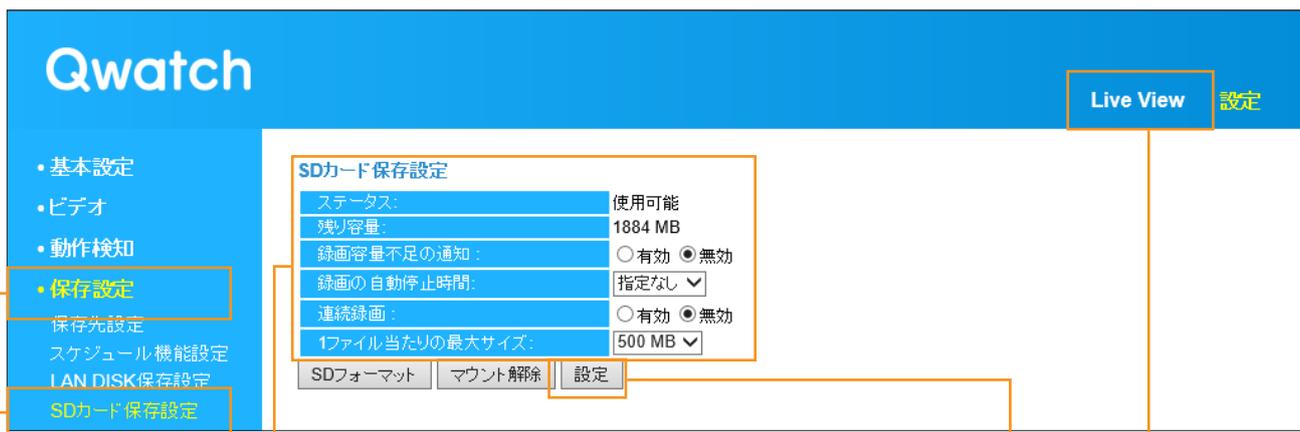
※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

- 2
- ① [設定] をクリック
 - ② [保存設定] → [保存先設定] の順にクリック



- ③ [SDカード] を選択
- ④ [設定] をクリック

- 3
- ① [保存設定] → [SDカード保存設定] の順にクリック



- ② [SDカード保存設定] の各項目を設定
- ③ [設定] をクリック
- ④ [Live View] をクリック

ヒント

SDカードを取り外す場合は、SDカード保存設定のマウント解除を実行してください

SDカードをマウント解除せずに抜くと、保存データの毀損・消失や故障の原因となります。保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。



SDカード保存設定		
ステータス	SDカードの接続状態を表示します。	
	SDカードが挿入されていません。	SDカードが取り付けられていないか、保存できない状態です。
	使用可能	SDカードにファイルを保存できる状態です。
残り容量	SDカードの空き容量を表示します。	
録画容量不足の通知	有効にすると、録画容量が足りなくなった場合に、メールでお知らせします。 ※ メール設定はカメラの設定画面の [基本設定] → [メール設定] でおこないます。 (「メール設定」 P.60参照)	
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。[指定なし]を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。	
連続録画	有効にすると、連続で録画します。 ※ 容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して（上書きして）、録画を続けます。	
1ファイル当たりの最大サイズ	1ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。	
SDフォーマット	クリックすると、SDカードを初期化します。 ※ 初期化するとSDカード内のデータがすべて消えてしまいます。 SDカード内に保存された重要なデータについては、必ず定期的にバックアップをおこなってください。接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。（バックアップとは保存したデータを守るために、HDD・BD・DVDなどの記憶媒体にデータの複製を作成することです。データを移動させることはバックアップではありません）	
マウント解除	クリックすると、カメラの電源が入っている状態でもSDカードを取り外せます。 ※ SDカードをマウント解除せずに抜くと、保存データの毀損・消失や故障の原因となります。保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。	

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

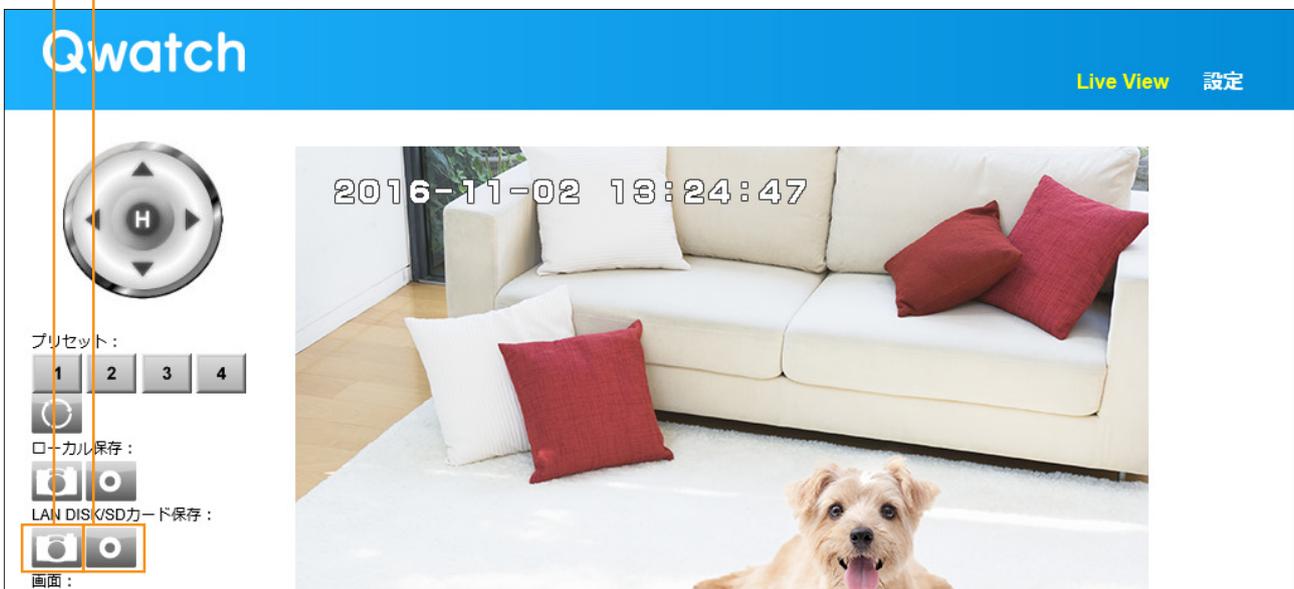
設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐりに戻る

4

- 写真を保存する場合 ▶ 撮影したいタイミングで「LAN DISK/SDカード保存」の  (LAN DISK/SDカードへ写真を保存) アイコンをクリック**
 ※ ファイル形式：JPEG、ファイル名：Snapshot_ (撮影日時)
- 映像を録画する場合 ▶ 撮影したいタイミングで「LAN DISK/SDカード保存」の  (LAN DISK/SDカードへ録画) アイコンをクリック**



5 映像を録画する場合のみ ▶ 録画を停止したいタイミングで (停止) アイコンをクリック

- ※ 「録画の自動停止時間」の設定をしている場合は、 (停止) アイコンをクリックせずに待ちます。設定した時間で自動的に録画が止まります。また、「録画の自動停止時間」の設定をしている場合でも  (停止) アイコンをクリックすると、すぐに録画を停止します。
- ※ ファイル形式： MJPEGまたはH264 ([「映像設定」61 ページ](#)で設定)
- ※ ファイル名： Record_ (撮影日時)

以上で写真のSDカードへの保存は完了です。

ヒント 映像設定により録画時間は異なります。
「困ったときには」 - [「録画時間の目安について」87 ページ](#)を参照し、設定してください。



パン・チルト（首振り）を利用する

パン・チルト機能を利用すると、カメラを左右・上下に動かすことができます。
設定画面でカメラの回転速度や範囲を設定し、利用します。

準備>>>パン・チルトの設定をする

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

- ### 2
- ① 【設定】をクリック
 - ② 【パン・チルト】 → 【パン・チルト設定】の順にクリック



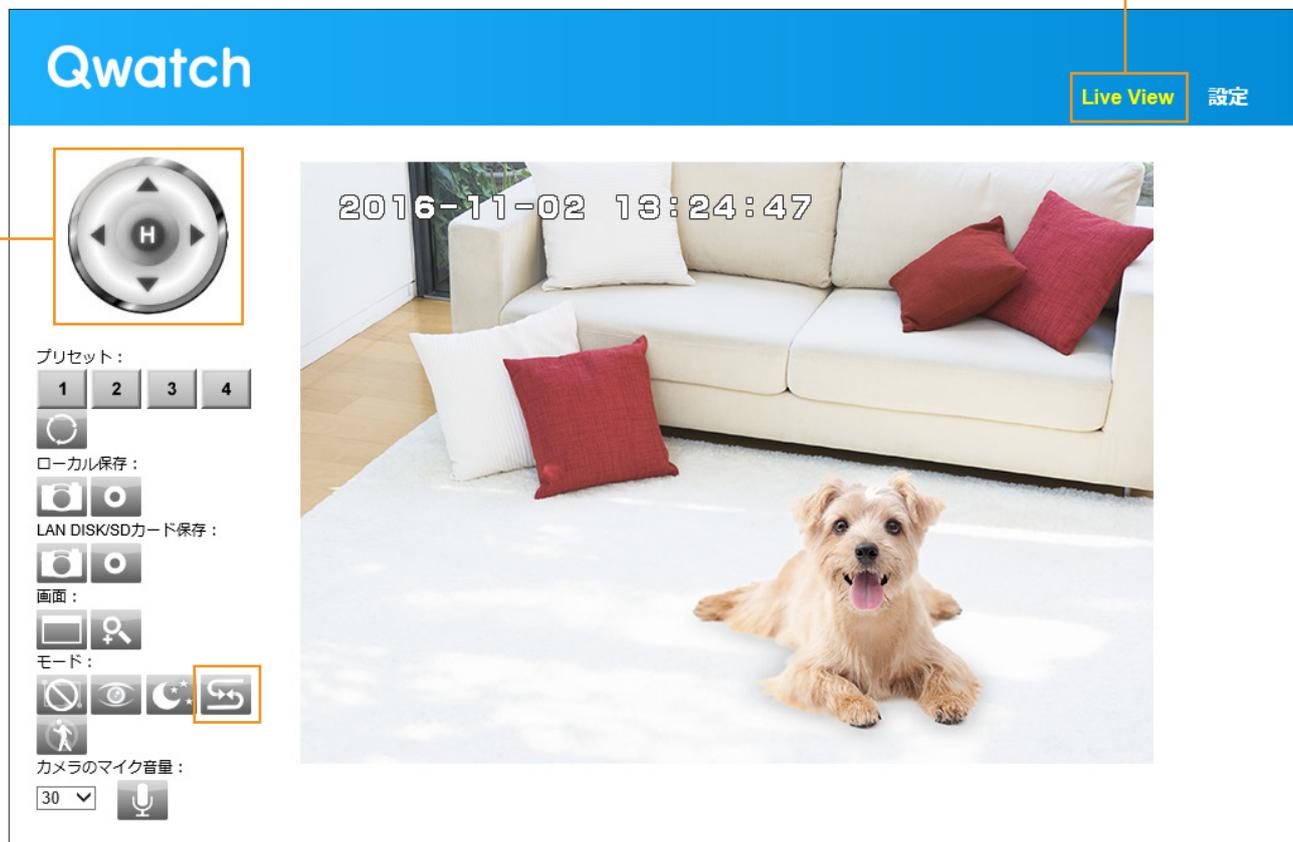
- ③ 【パン・チルト設定】の各項目を設定する
- ④ 【設定】をクリック

パン・チルト設定	
回転スピード	カメラの回転スピードを設定します。
回転幅	カメラの回転幅を設定します。
自動校正	有効にすると、自動的にカメラのホームポジションの位置を校正します。
位置校正時間設定	自動校正を「有効」に選択した場合、ホームポジションの位置校正をおこなう時間を設定します。
手動校正	ボタンを押すとすぐにホームポジションの位置校正をおこないます。

以上で、パン・チルトの設定は完了です。
次にパン・チルト（首振り）を利用します。

パン・チルト（首振り）を利用する

- 1 ① [Live View] をクリック
- ② パン・チルト操作ボタンをクリックし、首振りする



パン・チルト操作ボタン

	カメラを上下左右に動かします。H をクリックすると設定した位置（ホームポジション）に戻ります。（「ホームポジション設定」P.74参照）
	パン・チルトの動作方向を反転します。

※ 視聴中、録画中にパン・チルトをおこなうと、カメラの駆動音が収録されますのでご注意ください。

ヒント

カメラの方向を登録する方法（プリセット設定）

あらかじめカメラの方向を登録しておくと、パンチルトする場合に便利です。

（「準備>>>プリセットの設定をする」P.21参照）



アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐりに戻る

パトロール機能を利用する

設定した範囲を設定したスケジュールでパトロールすることができます。

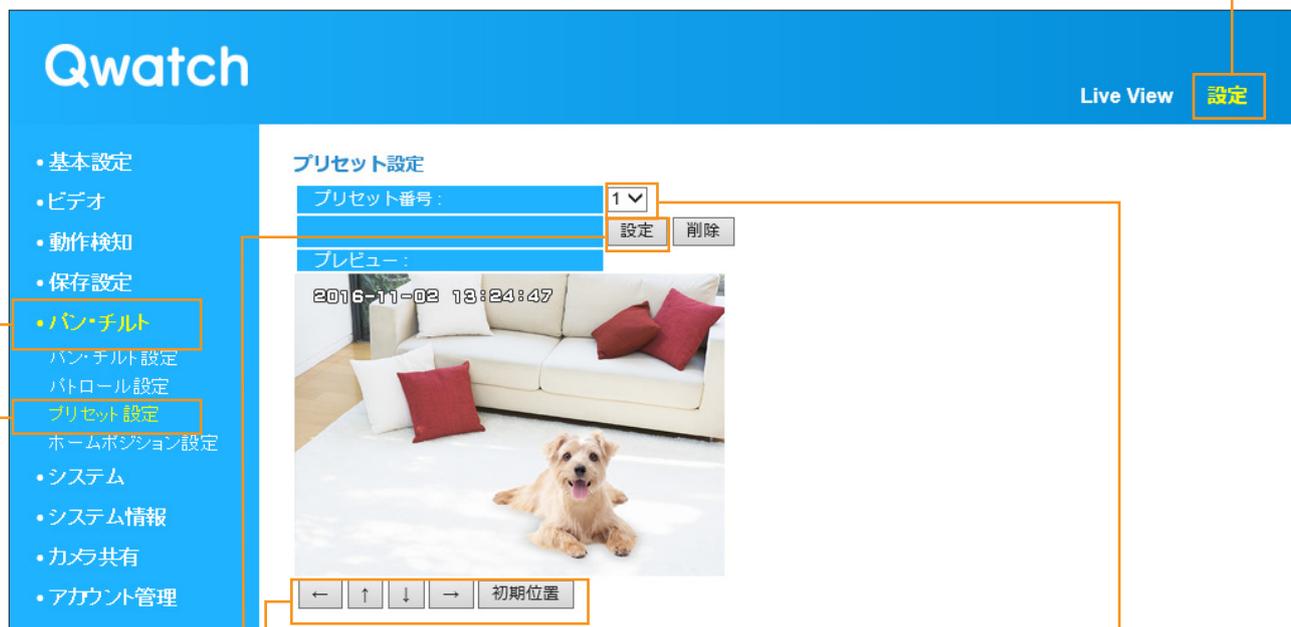
はじめにプリセット設定でカメラの方向を登録し、パトロール設定でスケジュール等を設定します。

準備>>>プリセットの設定をする

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

- ① **【設定】** をクリック
- ② **【パン・チルト】** → **【プリセット設定】** の順にクリック



- ③ **【←】 【↑】 【↓】 【→】 【初期位置】** をクリックし、設定したい方向にカメラの向きを動かす
- ④ **【プリセット番号】** を選択する
- ⑤ **【設定】** をクリック

※ プリセットは4つまで登録できます。上記画面で順に登録してください。

以上で、プリセットの設定は完了です。

次にパトロールの設定をします。

準備>>>パトロールの設定をする

1 ① [パン・チルト] → [パトロール設定] の順にクリック

② [パトロール設定] の各項目を設定する

③ [設定] をクリック



パトロール設定	
パトロール範囲	パトロールする範囲を設定します。 「準備>>>プリセットの設定をする」P.21で設定した向きを選択します。
パトロールモード	[有効] を選択します。
パトロール時間	パトロールする時間帯を設定します。 ※ 開始時間と終了時間を同じ時間にすると、24時間連続でパトロールし続けます。 (下記、ご注意参照)
プリセット位置での停止時間	プリセット設定した位置で停止する時間を設定します。 (15/30/45/60分から選択)

注意

パトロール機能を使い続けると、パン・チルト機構などの部品が消耗し、故障に至る可能性があります。パトロール機能を使い続けると、パン・チルト機構などの部品が消耗し、故障に至る可能性があります。本製品におけるパン・チルトの耐久目安は、移動から停止までの動作を1回として約50,000回となります。下表を参考に設定してください。

パトロール時間	プリセット位置での停止時間	目安時間
開始0:00～終了0:00 (毎日24時間動作する場合)	15分	約12,500時間(約1.4年)
	30分	約25,000時間(約2.8年)
	45分	約37,500時間(約4.2年)
	60分	約50,000時間(約5.7年)

※ 本製品の保証期間はご購入時より1年間です。上記は設定の際の目安時間であり、耐久時間を保証するものではありません。1年経過後に目安時間まで至らず故障した際も保証対象外となります。

以上で、パトロールの設定は完了です。次にパトロール機能を利用します。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

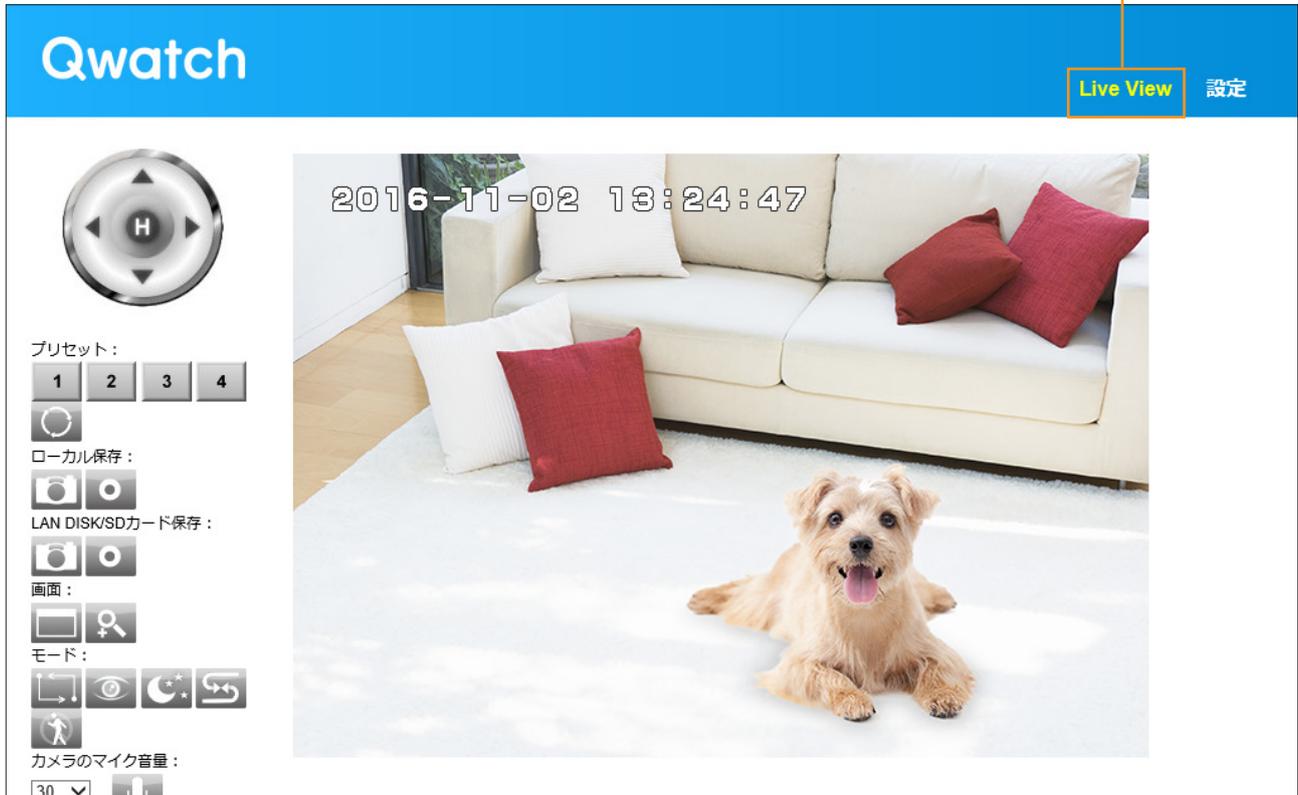
設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐくに戻る

パトロール機能を利用する

- 1 ① [Live View] をクリック
- ② 設定した時間になると、自動的にパトロールを開始します。



パトロールボタン	
	パトロールモード無効
	パトロールモード有効だが、パトロール時間外（待機中）
	パトロールモード有効およびパトロール中

※ パトロールボタンを押すと、パトロールモードの有効/無効を切り替えられます。

- 2 設定した時間になると、自動的にパトロールを終了します。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もぐじに戻る

プライバシー機能を利用する

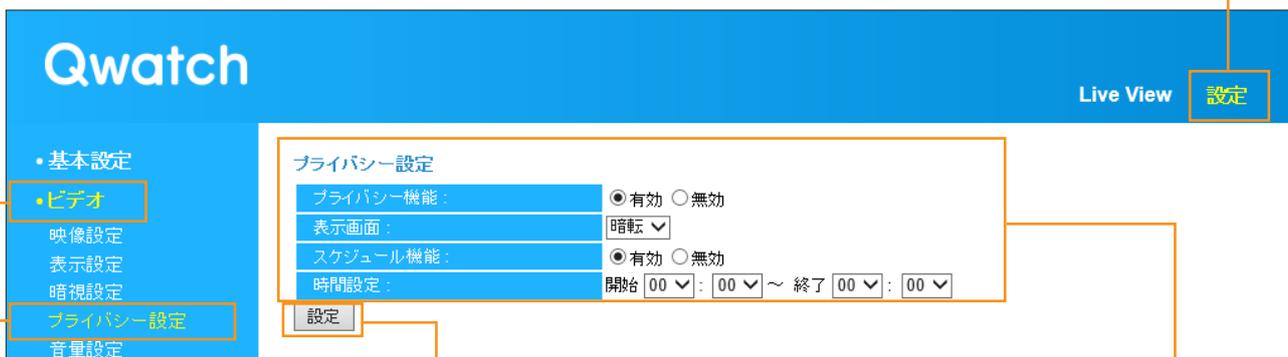
カメラの映像を公開したくない場合に使用します。

準備>>>プライバシーの設定をする

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

- ### 2
- ① [設定] をクリック
 - ② [ビデオ] → [プライバシー] の順にクリック



- ③ [プライバシー設定] の各項目を設定
- ④ [設定] をクリック

プライバシー設定	
プライバシー機能	[有効] を選択します。
表示設定	[暗転] のみ選択できます。
スケジュール機能	スケジュールを設定する場合は [有効] を選択します。
時間設定	[スケジュール機能] を [有効] にした場合、プライバシー機能を有効にする時間を設定します。 ※ 開始と終了は、3分以上空けて設定してください。 ※ 開始時間と終了時間を同じ時間に設定することはできません。

以上でプライバシーの設定は完了です。

次にプライバシー機能を利用します。

プライバシー機能を利用する

1

【Live View】をクリック

- ※ プライバシー機能が「有効」 になっている場合は、 アイコンをクリックして、「無効」 に切り替えることができます。
- ※ 管理権限（ユーザー名：admin）以外でログインしている場合、プライバシーモードアイコンは表示されません。管理権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。



アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐきに帰る

暗視機能を利用する

暗視モードを利用すると、暗闇の中、約5m先の映像まで表示することができます。

注意

暗視モードをご利用になる前にピントをあわせてください

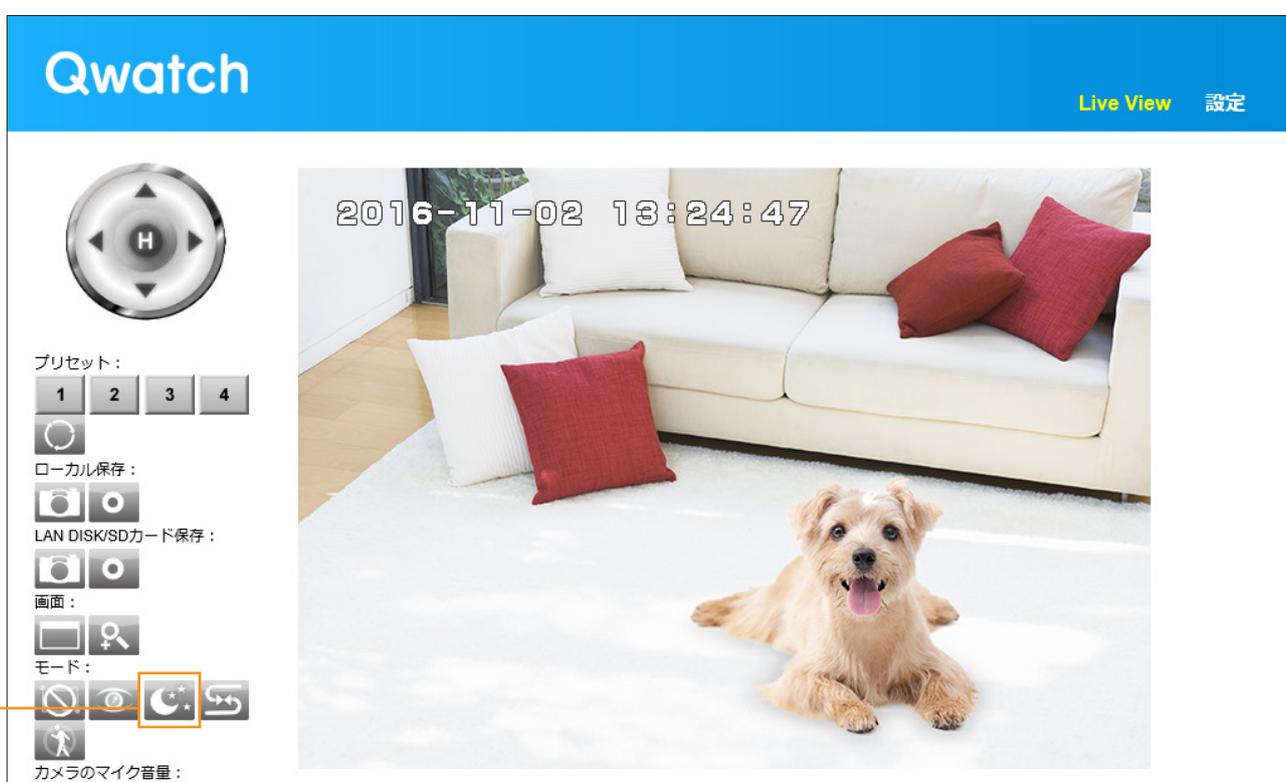
暗視モードではピントリングが熱く感じる場合があります。

事前にピントの調整をおこない、暗視モードご利用中はピントリングに触れないでください。

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

2 暗視機能のアイコン をクリックし、有効 にする



ヒント

【設定】画面からでも、暗視機能への自動切り替え機能を有効にすることができます。

【ビデオ】 → 【暗視設定】からおこないます。（「暗視設定」P.62参照）



アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

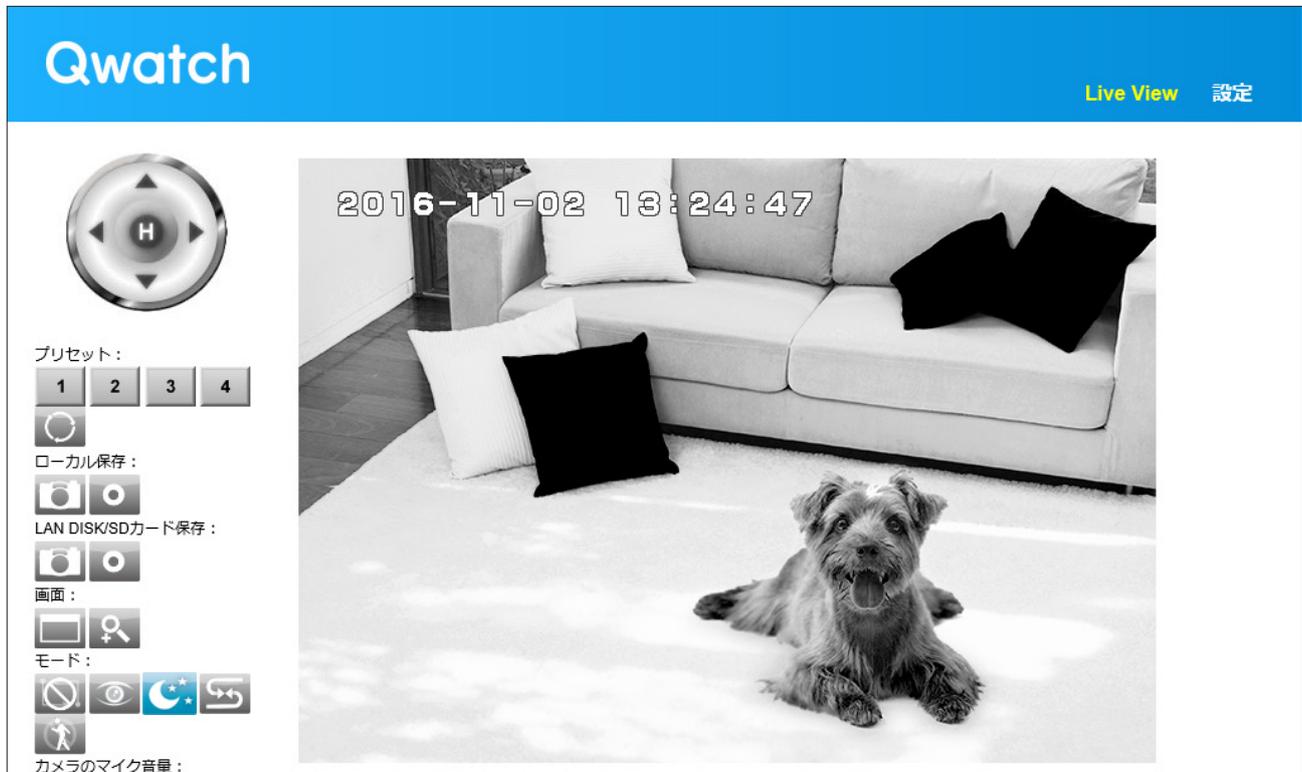
困ったときには

もくじに戻る

2 カメラの周りが暗くなると自動的に暗視状態 に切り替わります

※ 暗視機能アイコン  をクリックすると、暗視状態からの自動切り替え機能の [有効]  ⇄ [無効]  を切り替えます。

※ 自動切り替え機能が [有効]  になっていても、カメラの周りが明るい場合は暗視機能に切り替わりません。
( になりません。)



アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

動作検知機能を利用する

画像の動きを検知し、画像をFTPサーバーに記録したり、メールでお知らせすることができます。
また、範囲設定をおこなうと、設定した範囲のみの動作検知がおこなえます。

準備>>>動作検知の設定をする

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

- 2
- ① [設定] をクリック
 - ② [動作検知] → [動作検知設定] の順にクリック
 - ③ [動作検知設定] の各項目を設定



④ [設定] をクリック

動作検知設定	
動作検知機能	[有効] を選択します。 ※ [ビデオ] → [映像設定] で [解像度] を [HD(1280×720)] にすると動作検知機能を有効にできません。解像度を変更してご利用ください。（ 「映像設定」 P.61参照 ）
動作検知する間隔	動作検知する間隔を選択します。（1/3/5/10/15/20/30/45/60秒から選択） ※ 例えば5秒に設定した場合、カメラは5秒ごとに設定した範囲内に動きがあるかを確認します。 ※ 撮影枚数が多くなりすぎた場合は、「動作検知する間隔」を長めに設定すると撮影枚数が減ります。
撮影方法	動作検知した際の撮影方法を、撮影しない、スナップショット（静止画）または動画から選択します。 ※ [動画] を選択した場合、録画できるファイル容量は最大2MBです。（2MBになると自動で録画を停止します。）
動作検知時の録画時間	動作検知してから何秒間録画するかを選択します。（1/2/3/4/5/10秒から選択）
メールで通知	動作検知した際の画像をメールに送信する場合は、[有効] を選択します。 ※ メール設定はカメラの設定画面の[基本設定] → [メール設定]でおこないます。（ 「メール設定」 P.60参照 ）
撮影したファイルの送信先	動作検知した際のファイルの送信先を選択します。 ※ 動作検知した際の画像は上書き保存することができません。保存先の容量がなくなった場合は、不要なファイルを削除して、容量を空けてください。

以上で動作検知設定は完了です。動作検知をご利用ください。（[「動作検知機能を利用する」 P.34参照](#)）

また、動作検知範囲などの詳細設定をおこなう場合は、以下のページをご参照ください。

- ▶ 準備>>>範囲設定をする・・・29 ページ
- ▶ 準備>>>FTP設定をする・・・32 ページ
- ▶ 準備>>>スケジュール設定をする・・・31 ページ
- ▶ 準備>>>メール設定をする・・・33 ページ

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

準備>>>範囲設定をする

※ 範囲設定にはAdobe Flash Playerが必要です。

※ カメラアプリ「QwatchView」からは範囲設定できません。パソコンから設定画面を開き、設定してください。

1

① [動作検知] → [範囲設定] の順にクリック

② 以下の画面が表示された場合は、[Adobe Flash Playerをダウンロード] をクリック
⇒ 画面の指示にしたがってインストール



③ Adobe Flash Playerのインストールが完了したら、もう一度「設定範囲」メニューをクリック

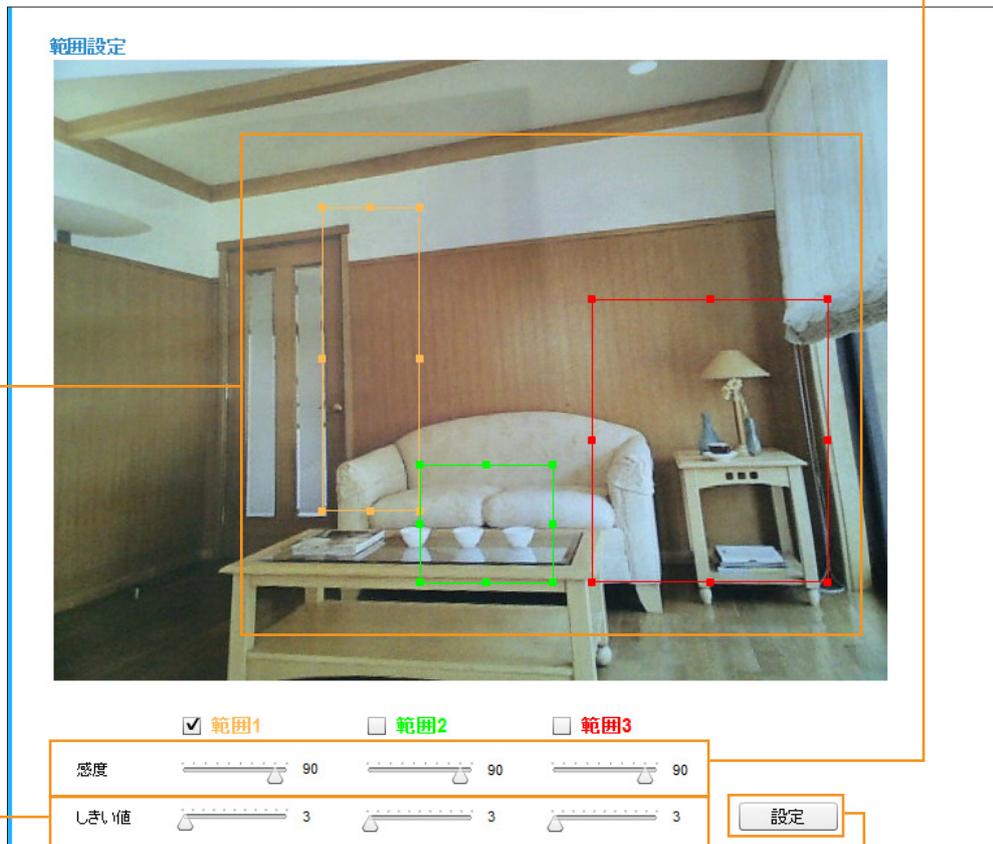
2

① 映像の上でドラッグし、検知をおこなう範囲を設定

※ 検知対象の範囲を狭くすると、検知精度を上げることができます。

※ 範囲は3つまで設定できます。

※ タイムスタンプを含まないように範囲を設定してください。



② [感度] をドラッグし、検知をおこなう感度を設定

※ 感度を上げると、検知しやすくなります。検知しすぎる場合は、感度を下げます。

③ [しきい値] をドラッグし、検知をおこなう画像の変化量を設定

※ 値を小さくすると、より小さな変化でも検知することができます。

④ すべての範囲設定をおこなったら、[設定] をクリック

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る



ヒント

ドアからの人の出入りを検知する場合

- ① ドアの横の領域（人が通る部分）（前ページ画面例のオレンジ部分）を検出範囲として設定します。
 - ※ ドアを範囲に設定するとドアを開く瞬間に検知してしまい、ドアを開けた人の写真が撮影できません。
- ② 実際に検知されるかどうか、お試しください。
 - ※ 検知が早すぎる場合は、しきい値を大きくします。それでも検知が早すぎる場合は、感度を小さくします。
 - ※ 検知されない場合は、しきい値を小さくします。それでも検知されない場合は、感度を大きくします。

以上で範囲設定は完了です。動作検知をご利用ください。（[「動作検知機能を利用する」 P.34参照](#)）

また、スケジュールなどの詳細設定をおこなう場合は、以下のページをご参照ください。

- ▶ [準備>>>スケジュール設定をする・・・31 ページ](#)
- ▶ [準備>>>FTP設定をする・・・32 ページ](#)
- ▶ [準備>>>メール設定をする・・・33 ページ](#)

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

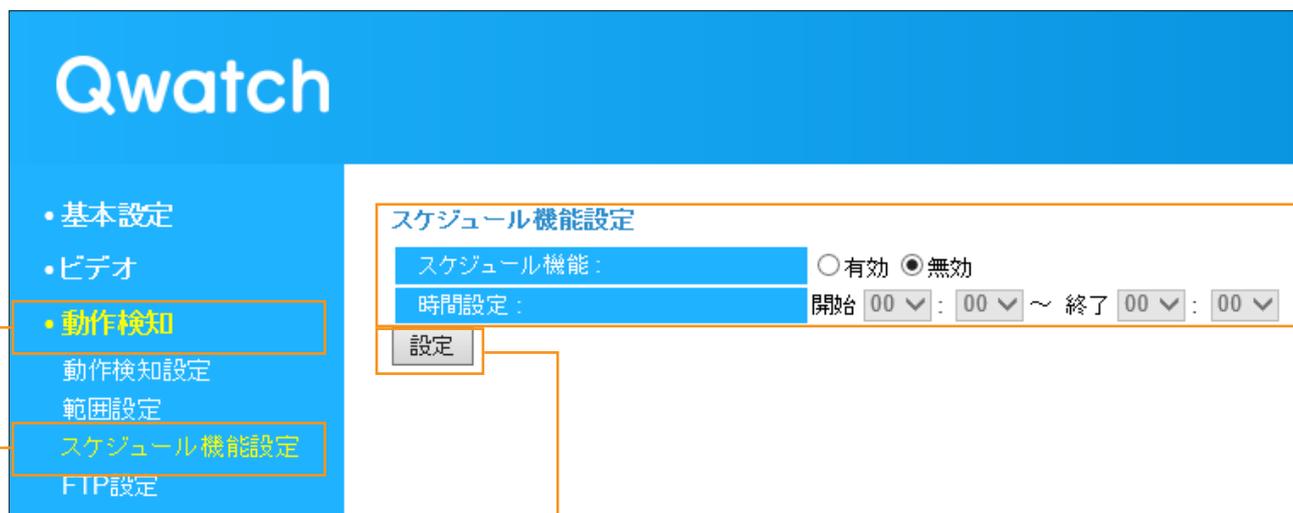
設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

準備>>>スケジュール設定をする

1 ① [動作検知] → [スケジュール機能設定] の順にクリック



② [スケジュール機能設定] の各項目を設定

③ [設定] をクリック

スケジュール機能設定	
スケジュール機能	[有効] を選択します。
時間設定	動作検知を開始する時間帯を設定します。 ※ スケジュールの開始と終了は、3分以上に設定してください。

以上でスケジュール設定は完了です。動作検知をご利用ください。(「動作検知機能を利用する」P.34参照)

また、保存先設定などの詳細設定をおこなう場合は、以下のページをご参照ください。

▶ 準備>>>FTP設定をする・・・32 ページ

▶ 準備>>>メール設定をする・・・33 ページ

準備>>>FTP設定をする

1 ① [動作検知] → [FTP設定] の順にクリック



② [FTP設定] の各項目を設定

③ [設定] をクリック

FTP設定	
FTPサーバー名	FTPのサーバー名を入力します。(IPアドレス等)
ユーザー名	FTPのユーザー名を入力します。
パスワード	FTPのパスワード名を入力します。
ポート番号	FTPで使用するポート番号を入力します。(通常21番)
パス	FTPサーバー内のフォルダーを指定します。 ※ 下層のフォルダーを設定する場合は、“/”で区切ってください。 ※ フォルダーおよびファイルを含めたフルパスで256文字まで入力できます。 ※ 半角英数字で指定します。 (例：disk1フォルダーの下のTS-WPTCAM2フォルダーを設定する場合、“disk1/TS-PTCAM2”と入力)
パッシブモード	FTPが正常に通信できていない場合、[有効]を選択します。

ヒント 「テストファイルを送信」でエラーになってしまう場合は、「困ったときには」 - 「動作検知設定時、**「テストファイルを送信」**でエラーになってしまう」88ページをご参照ください。



以上でFTP設定は完了です。動作検知をご利用ください。（「動作検知機能を利用する」P.34参照）
また、メール送信先の設定をおこなう場合は、以下のページをご参照ください。

▶ 準備>>>メール設定をする・・・33ページ

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

準備>>>メール設定をする

- 1 ① [基本設定] → [メール設定] の順にクリック ② [メール設定] の各項目を設定

- ③ [設定] をクリック

メール設定	
メールサービス	手動設定/Yahoo!/Gmailから、送信元メールに対応するメールサービスを選択します。
SMTPサーバー名	[手動設定] の場合は、使用する送信元メールのSMTPサーバー名を入力します。Yahoo!/Gmailの場合は、自動的に入力されます。
SMTPポート番号	[手動設定] の場合は、使用する送信元メールのSMTPポート番号を入力します。Yahoo!/Gmailの場合は、自動的に入力されます。
宛先メールアドレス	動作検知の通知を受け取る方のメールアドレスを入力します。 (複数の宛先を設定する場合、“;” で区切ってください。最大127文字まで可能です。)
送信元メールアドレス	送信元メールアドレス (Yahoo!/Gmailなどのメールアドレス) を入力します。
SSL/TLS	送信元メールに対応する暗号化方式を選択します (Yahoo!/Gmailの場合は自動的に選択されます)。
SMTP認証	SMTPで認証をおこなう場合には有効にしてください。
アカウント	送信元メールのアカウント (ID) を入力します。
パスワード	送信元メールのパスワードを入力します。

ヒント 「テストメールを送信」でエラーになってしまう場合は、「困ったときには」 - 「動作検知設定時」、「テストメールを送信」でエラーになってしまう」88 ページをご参照ください。



以上でメール設定は完了です。動作検知をご利用ください。(「動作検知機能を利用する」P.34参照)

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

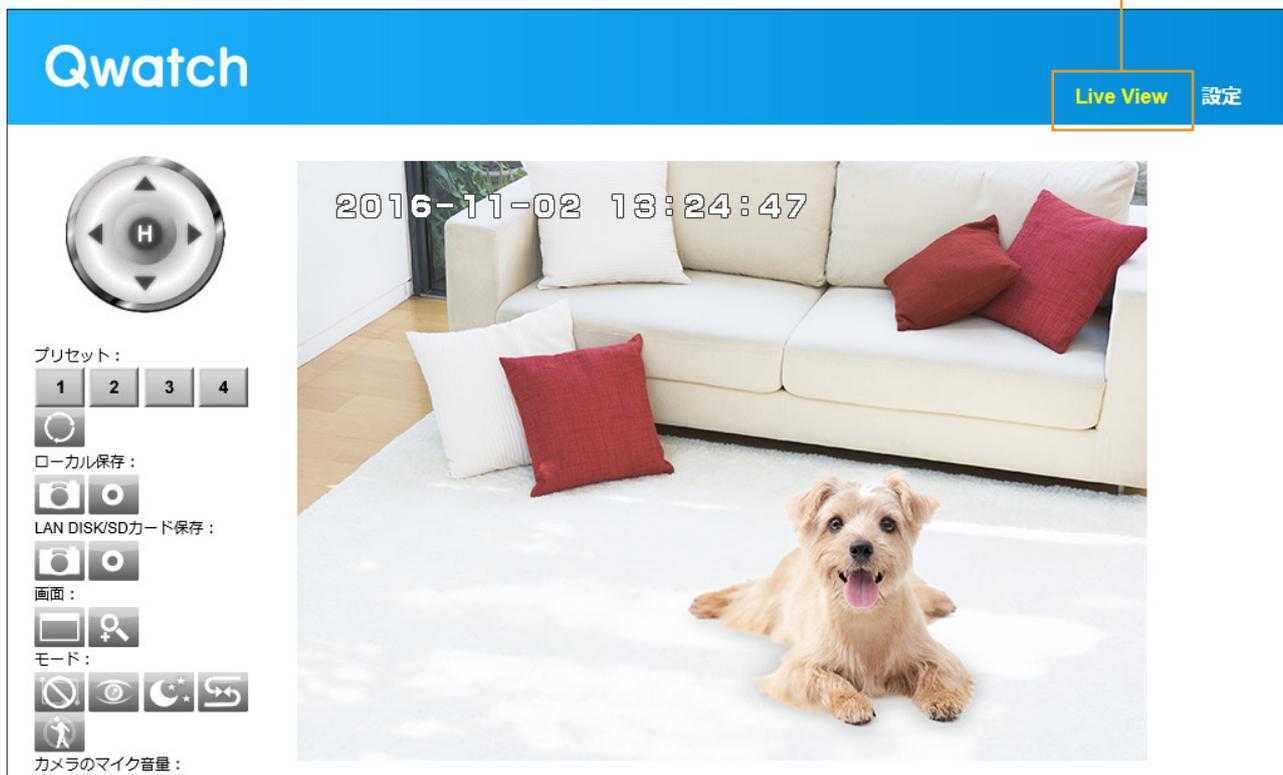
もくじに戻る

動作検知機能を利用する

1

【Live View】をクリック

- ※ 動作検知アイコン  をクリックすると、動作検知機能の [有効]  ⇄ [無効]  を切り替えます。
- ※ スケジュールを設定している場合は、設定した時間帯になると自動的に動作検知機能が有効になります。



2

動作を検知すると、設定したとおりに撮影をおこない保存、通知します。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

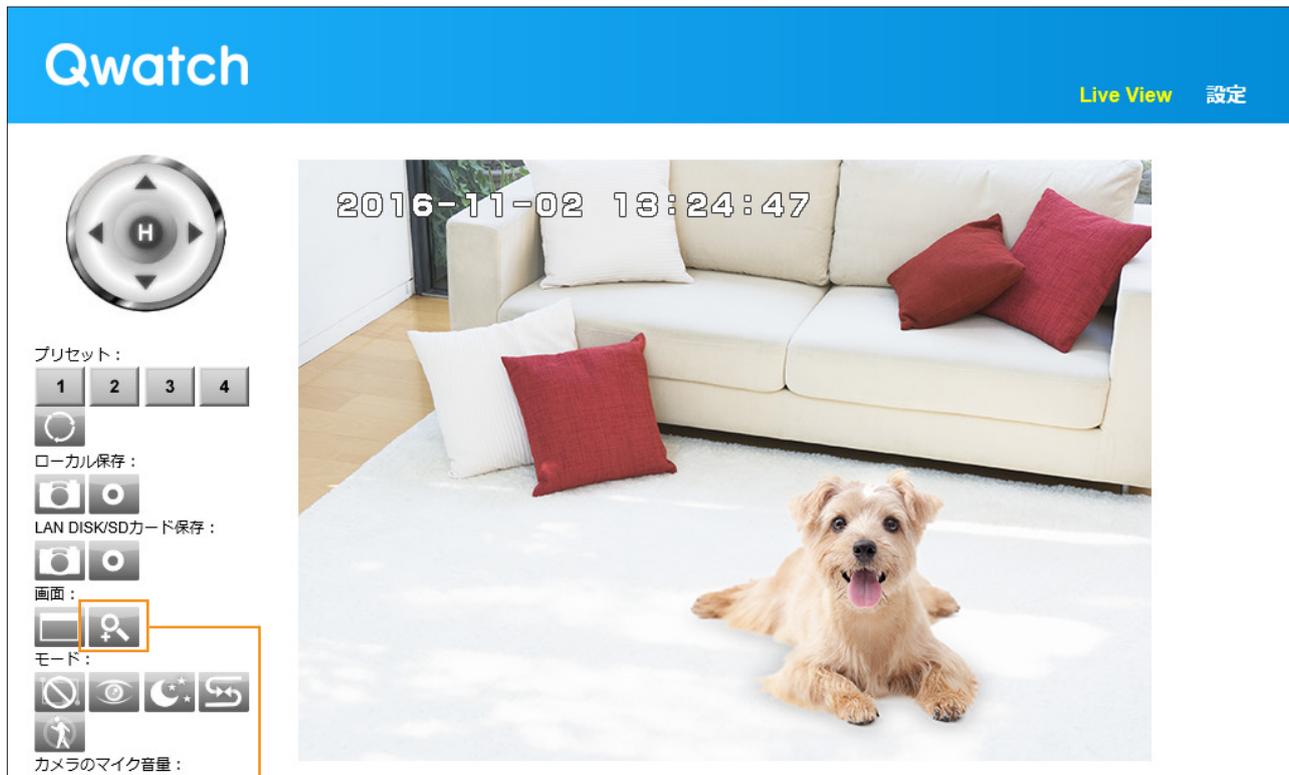
もぐじに戻る

デジタルズームする

映像を拡大表示する手順を説明します。

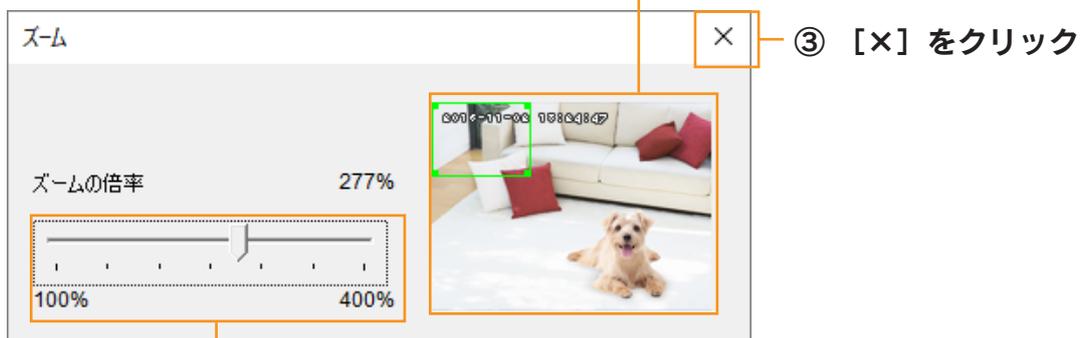
※ 本機能はInternet Explorerでのみご利用可能です。

1 ① Internet Explorerでカメラのライブ映像を表示する



②  (デジタルズーム) アイコンをクリック

2 ① マウスでドラッグしてズーム範囲を選択



② マウスでドラッグし、拡大率を選択

③ [X] をクリック

アカウントについて

各機能の使い方

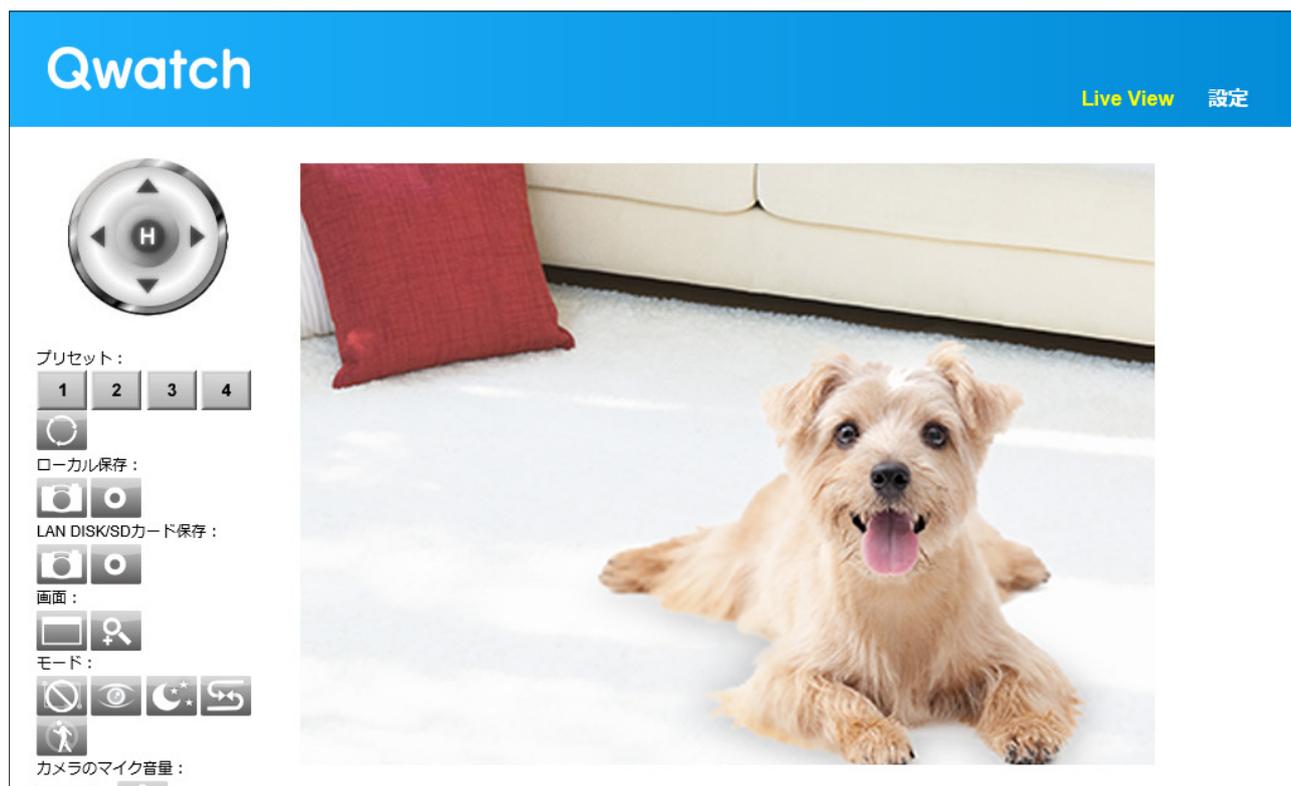
詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

3 拡大表示されたことを確認



以上で、映像の拡大表示は完了です。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もぐじに戻る

カメラを共有する

ユーザー権限のアカウントでカメラを登録するためのQRコードを作成して配布すると、視聴期間や使用機能を限定してカメラ映像を公開することができます。カメラを家族や知人などと共有して利用する場合に、便利です。

- ・ 視聴期間や使用する機能を限定してカメラ映像を公開することができます。
⇒ お店の様子やイベント会場等のリアルタイム配信に利用できます。
- ・ 作成したQRコードの画像をメール等に添付して送ることができます。
⇒ 遠隔地にいる家族や知人でもカメラを登録できます。
(添付の「かんたん接続シート」を見せなくても登録ができます)
- ・ 本手順で登録したカメラは共有ユーザー権限になります。
⇒ 共有ユーザーで登録したカメラは他のアカウントに変更できないため、セキュリティが守れます。

ヒント

事前にユーザーアカウントを追加/編集しておいてください



設定画面から [アカウント管理] → [ユーザー設定] でユーザーの追加がおこなえます。同じく [アカウント管理] → [権限設定] でアカウント毎に使用する機能を設定できます。(「[アカウントの編集方法](#)」P.47参照)

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐもぐ戻る

1. QRコードを作成する

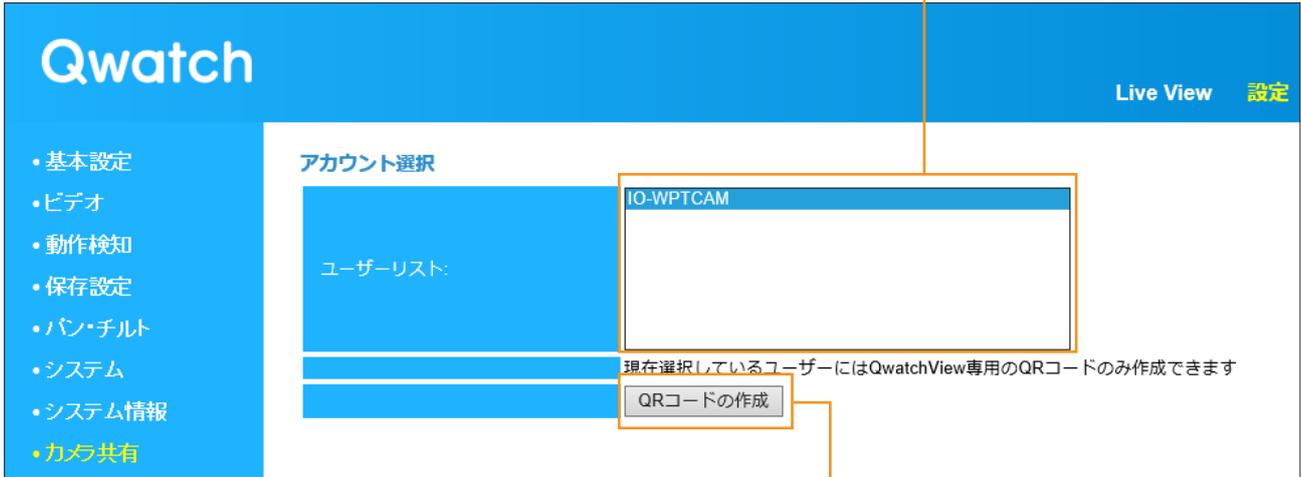
1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限 (ユーザー名: admin) でログインしてください。

- 2
- ① [設定] をクリック
 - ② [カメラ共有] をクリック
 - ③ [作成開始] をクリック



3 ① 【ユーザーリスト】 から共有ユーザー用のアカウントを選択



② 【QRコードの作成】 をクリック

4 ① 【ログイン用QRコードの作成】 の各項目を設定

ログイン用 QRコードの作成

MACアドレス <input type="text"/>	カメラ製品型番 <input type="text"/>	ホスト名 wcam-1 <input type="text"/> .iobb.net
視聴期間 開始 2013 年 9 月 24 日 13 時	終了 2013 年 10 月 25 日 23 時	
許可する 曜日 <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日		

② 【作成】 をクリック

ログイン用QRコードの作成	
MACアドレス	カメラのMACアドレスを入力します。
カメラ製品型番	カメラの型番を選択します。
ホスト名	カメラに添付の「かんたん接続シート」に記載のiobb.netの「ホスト名」を入力します。
視聴期間開始-終了	カメラの視聴を許可する（公開する）開始日時と終了日時を選択します。
許可する曜日	設定した視聴期間内でカメラの視聴を許可する（公開する）曜日を選択します。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

5 表示されたQRコードを、以下の方法でカメラの利用者に配布する

- ・ QRコード画面を利用者に見せる
- ・ QRコードの画面を印刷する
- ・ QRコードの画面をコピー（画面を保存）してメールで送る



以上でQRコードの作成は完了です。

作成したQRコードは利用者のスマートフォン等で登録します。[「2.カメラを登録する」40ページへ](#)お進みください。

2.カメラを登録する

作成したQRコードで利用者がカメラを登録する手順を説明します。

※ iPhone/iPad/iPod touchは、iOS 9.0以降かつカメラ付モデルに対応しています。

※ Android OSは、Ver 4.4以降に対応しています。（オートフォーカス機能のあるカメラを搭載した端末を推奨します。）

※ カメラ非搭載機種の場合は、作成した視聴制限付きQRコードはご利用いただけません。

※ 本手順 (QRコネクト+) でカメラを登録すると、共有ユーザー権限になります。

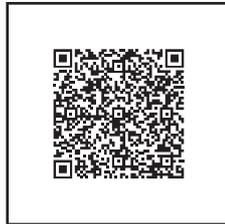
※ 以下、画面例はiOSです。

1 QRコードを読み込むか、[App Store] または [Playストア] (Google Play)、 [Androidマーケット] からQwatchViewを検索してインストールする

▼ iOSの場合



▼ Androidの場合



2 [QwatchView] を開く

3 [編集] → [登録] → [QRコネクト+で登録] → [読み取り開始] の順にタップ



4 QRコードを読み取り範囲内にかざして読み込む



- ① iOSの場合：「登録」をタップ
Androidの場合：端末の戻るボタンをタップ

- ② 「完了」をタップ



カメラ映像が表示されます。以上でカメラの登録は完了です。
以降は、「QwatchView」を起動するだけで、モニタリングできます。

ヒント

「QwatchView」の使用方法については、弊社Webページより「QwatchView」の画面で見るマニュアルをご覧ください



➔ <http://www.iodata.jp/lib/manual/qwatchview/>

詳細な設定をする

Wi-Fiルーターに手動で接続する.....	43 ページ
IPアドレスの変更方法.....	45 ページ
管理者パスワードの変更方法.....	46 ページ
アカウントの編集方法.....	47 ページ
ファームウェアのバージョンアップ方法	49 ページ
初期設定に戻す方法	52 ページ
天井に固定する方法	54 ページ

Wi-Fiルーターに手動で接続する

Wi-FiルーターにWPSボタンがない場合や、WPSボタンで接続ができなかった場合は、本手順でWi-Fiルーターに接続することができます。

一旦、カメラをルーターに有線LAN接続し、設定します。

※ 事前にWi-FiルーターのSSIDと暗号キーを控えておいてください。

※ カメラと同じネットワーク上にあるパソコンから設定画面を開いて設定します。

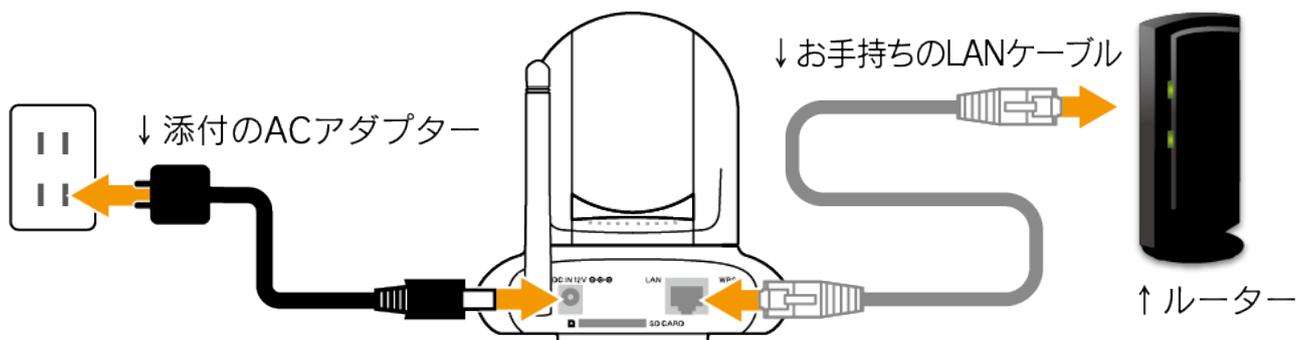
※ カメラを一旦、ルーターに有線LAN接続して設定します。

1 ① 添付のACアダプターを、カメラのDC INと電源コンセントに挿す

※ カメラが起動するまで約40秒かかります。

② LANケーブルを、カメラのLANポートとルーターのLANポート（有線ポート）に挿す

※ LANケーブルは別途ご用意ください。



2 カメラの設定画面を開く（「設定画面の開き方」P.90参照）

※ すでに「Magical Finder」のインストールしている場合は次ページ手順3へお進みください。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

- 3 ① [設定] をクリック
- ② [基本設定] → [無線設定] の順にクリック
- ③ [検索] をクリック

- ④ 表示されたアクセスポイントのリストから接続したいルーターのSSIDを選択
- ⑤ [プレシェアードキー] を入力 ※ 8~63文字のASCII文字
- ⑥ [設定] をクリック

4 カメラからLANケーブルを外す

以上でWi-Fiルーターへの手動接続設定は完了です。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐぐりする

IPアドレスの変更方法

カメラのIPアドレスを自動取得（DHCP）または固定設定に変更する方法を説明します。

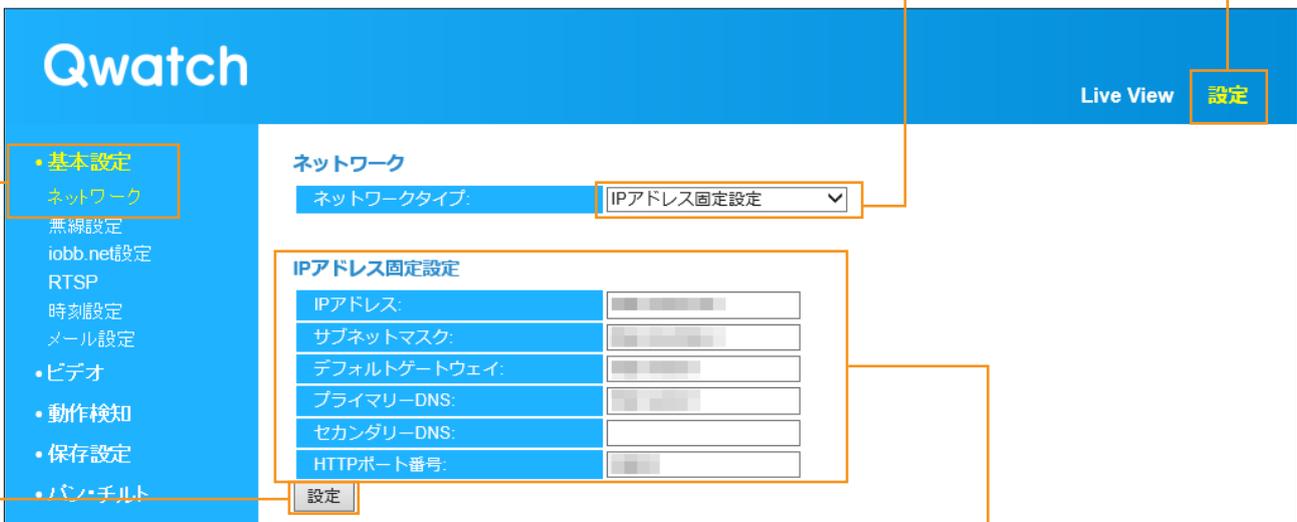
※ カメラと同じネットワーク上にあるパソコンから設定画面を開いて設定します。

※ 初期設定は自動取得（DHCP）です。

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

- ① [設定] をクリック
- ② [基本設定] → [ネットワーク] の順にクリック
- ③ [ネットワークタイプ] を選択



- ④ ネットワークタイプで [IPアドレス固定設定] を選択した場合、
[IPアドレス固定設定] 内の各項目を設定
- ⑤ [設定] をクリック

IPアドレス固定設定	
IPアドレス	IPアドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。
プライマリーDNS	使用するDNSを入力します。
セカンダリーDNS	使用するDNSを入力します。
HTTPポート番号	カメラが使用するポート番号を入力します。 ※ 同じネットワーク内に別のカメラがある場合、HTTPポート番号は一緒にしないでください。

以上でIPアドレスの変更は完了です。

管理者パスワードの変更方法

セキュリティのため、管理者権限のパスワードは初期設定より変更することをお勧めします。

※ 初期設定：カメラのMACアドレス

※ カメラと同じネットワーク上にあるパソコンから設定画面を開いて設定します。

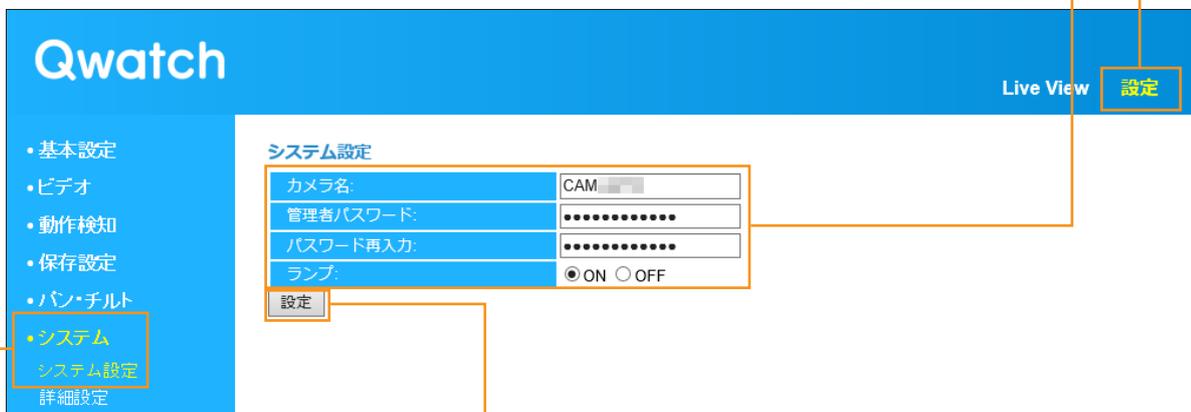
※ 管理者以外の権限のパスワード変更については、[「アカウントの編集方法」P.47](#)参照

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

- ## 2
- ① [設定] をクリック
 - ② [システム] → [システム設定] の順にクリック
 - ③ [管理者パスワード] と [パスワード再入力] に同じパスワードを入力

※ a~z、A~Z、0~9の文字を使用（半角入力）



- ④ [設定] をクリック

注意

パスワードは半角英数字のみ使用してください

パスワードにはa~z、A~Z、0~9の文字のみを使用してください。記号や文字は使用できません。

以上で管理者パスワードの変更は完了です。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

アカウントの編集方法

ユーザー権限のアカウントの追加や削除、使用権限の編集がおこなえます。

※ カメラと同じネットワーク上にあるパソコンから設定画面を開いて設定します。

※ 管理者権限の追加や削除はおこなえません。また管理者権限のパスワード変更は「[管理者パスワードの変更方法](#)」46ページをご参照ください。

アカウントの追加/編集/削除する

【ユーザー設定】メニューでは、ユーザー権限のアカウントの追加やパスワードの変更、アカウントの削除がおこなえます。

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

- ① 【設定】をクリック
- ② 【アカウント管理】 → 【ユーザー設定】の順にクリック



③ アカウントの追加/編集/削除をおこないます

ユーザー設定	
ユーザーリスト	現在登録されているユーザー権限のアカウントのユーザー名を表示します。
追加	ユーザー権限のアカウントが追加できます。【追加】をクリックすると、ユーザー名とパスワードの登録画面が表示されます。 ※ パスワードにはa～z、A～Z、0～9の文字を使用（半角入力）
編集	パスワードの変更がおこなえます。【ユーザーリスト】からユーザー名を選択し、【編集】をクリックすると、パスワードの変更画面が表示されます。 ※ パスワードにはa～z、A～Z、0～9の文字を使用（半角入力）
削除	【ユーザーリスト】からユーザー名を選択し、【削除】をクリックすると選択したアカウントを削除することができます。

注意

パスワードは半角英数字のみ使用してください

パスワードにはa～z、A～Z、0～9の文字のみを使用してください。記号や文字は使用できません。

以上でアカウントの追加/編集/削除は完了です。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

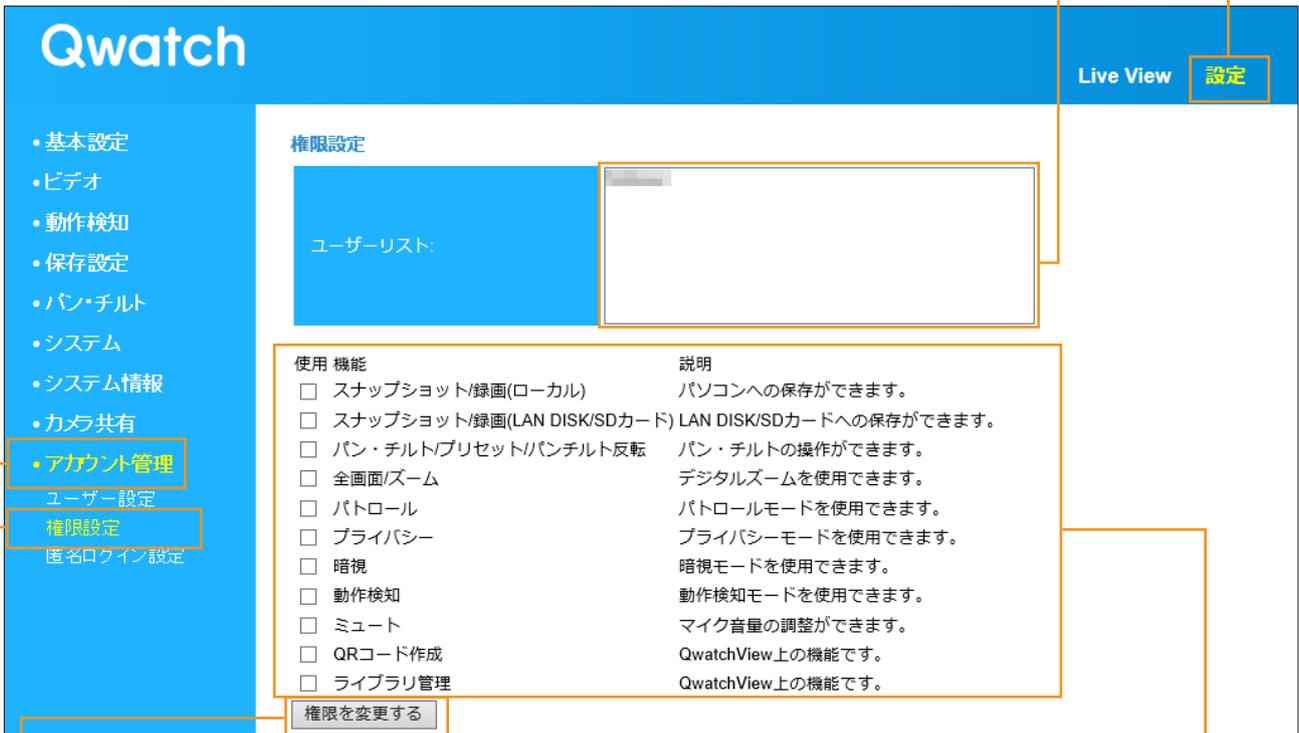
アカウントの権限設定をする

【権限設定】メニューでは、アカウントごとに使用を許可する機能を設定することができます。

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

- 2 ① 【設定】をクリック
- ② 【アカウント管理】 → 【権限設定】の順にクリック
- ③ 【ユーザーリスト】よりアカウントを選択



④ 使用を許可する機能にチェックをつけ、許可しない機能のチェックを外す

⑤ 【権限を変更する】をクリック ⇒ 以上でアカウントの権限変更は完了です。

使用機能	
スナップショット/録画（ローカル）	ローカルドライブへスナップショットの保存や映像の録画を許可します。
スナップショット/録画（LAN DISK/SDカード）	LAN DISKやSDカードへスナップショットの保存や映像の録画を許可します。
パン・チルト/プリセット/パンチルト反転	パン・チルトとプリセットの操作ができます。
全画面/ズーム	全画面表示やズームができます。
パトロール	パトロール機能が使用できます。
プライバシー	プライバシー機能が使用できます。
暗視	暗視機能が使用できます。
動作検知	動作検知機能のオン/オフがおこなえます。
ミュート	マイク音量の調整がおこなえます。
QRコード作成	QwatchViewで共有ユーザー用のQRコードを作成できます。
ライブラリ管理	QwatchViewのライブラリメニューからSDカードやLAN DISK内のデータを確認することができます。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

ファームウェアのバージョンアップ方法

カメラのファームウェアのバージョンアップ方法を説明します。

- ※ カメラを一旦、有線LANルーターに接続して設定してください。
- ※ カメラと同じネットワーク上にあるパソコンから設定画面を開いて設定します。
- ※ 録画中の場合は、停止してからファームウェアのバージョンアップをおこなってください。

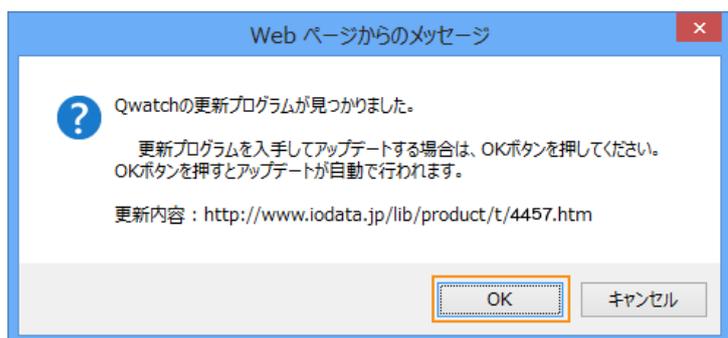
注意

ファームウェアのアップデート中にカメラの電源を切らないでください。
カメラが故障します。

自動更新する場合（初期設定）

ファームウェアの自動更新が「有効」になっている場合は、1日1回、最新版のファームウェアがないかチェックし、自動的に更新をおこないます。

「更新プログラムが見つかりました」のメッセージが表示された場合は「OK」をクリックし、更新してください。（インターネット接続環境が必要です）



手動更新する場合

自動更新を「無効」に設定している場合または手動でバージョンアップをおこなう場合は、本手順で更新してください。

- ① 弊社サポートライブラリ <http://www.iodata.jp/lib/> にアクセスし、カメラの型番を検索します。
- ② ご利用のパソコンのOSをクリックします。
- ③ ファームウェアの更新ファイルのダウンロードボタンをクリックします。
⇒ 画面の指示に従ってダウンロードします。

- 2 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する
※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

- 3
- ① [設定] をクリック
 - ② [システム] → [詳細設定] の順にクリック
 - ③ [参照] をクリックし、手順1. で解凍したファームウェアのアップデートファイル [xxxxxx.bin] (xxxxxxは英数字) の場所を指定
 - ④ [更新] をクリック



アカウントについて

各機能の使い方

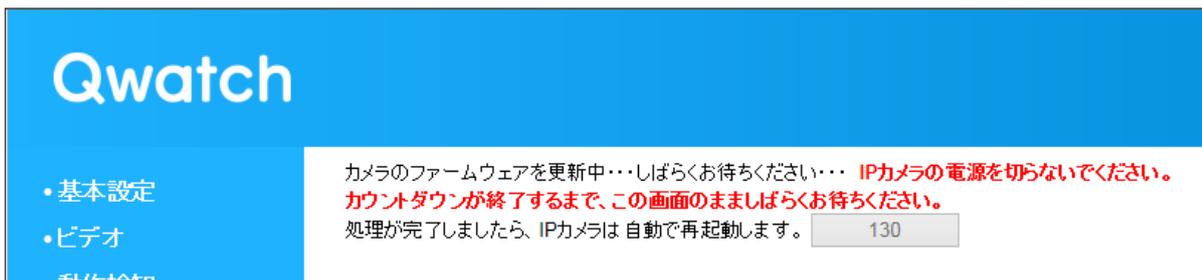
詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

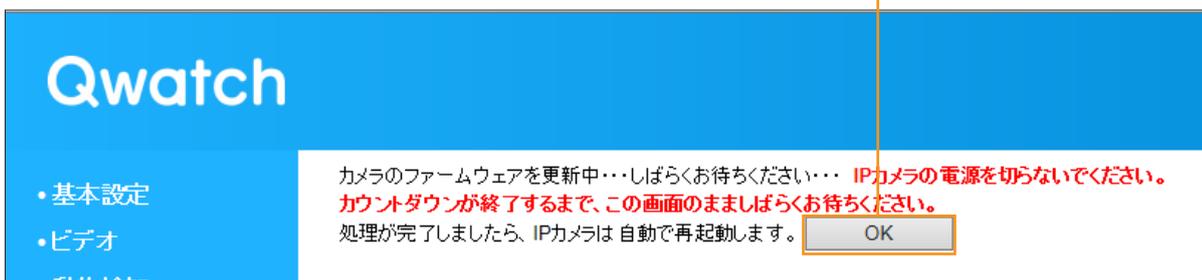
困ったときには

もくじに戻る

- 4
- ① カウントダウンが終了するまで待つ



- ② [OK] をクリック



5 ① 【システム情報】 をクリック



② ファームウェアバージョンが更新されていることを確認

③ Internet Explorerをご利用の場合は、ActiveXのバージョンが最新であることを確認

- ※ [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] にある [Internet Camera ActiveX x.x.x.x] のバージョンと一致していることを確認します。(xには数字が入ります)

以上でファームウェアのバージョンアップは完了です。

ヒント

Internet Explorerをご利用の場合でActiveXのバージョンが最新ではない場合は、以下の手順でActiveXをインストールしなおしてください。



- ① [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] を開き、[Internet Camera ActiveX x.x.x.x] を削除します。(xには数字が入ります)
- ② カメラにアクセスし、[ActiveXのダウンロード] をクリックしてインストールします。

初期設定に戻す方法

カメラを初期設定に戻す方法を説明します。

カメラの設定画面またはカメラ本体にあるスイッチのいずれかの方法で戻すことができます。

設定画面で戻す場合

1 WEBブラウザでカメラのライブ映像を表示する

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

- ### 2
- ① [設定] をクリック
 - ② [システム] → [詳細設定] の順にクリック



③ [出荷時設定] を選択

※ [基本設定] メニューの [ネットワーク] メニュー内にある設定を保持し、その他の設定を初期設定に戻したい場合は、[ネットワーク設定を保持] を選択します。

④ [初期化] をクリック

カメラが再起動します。

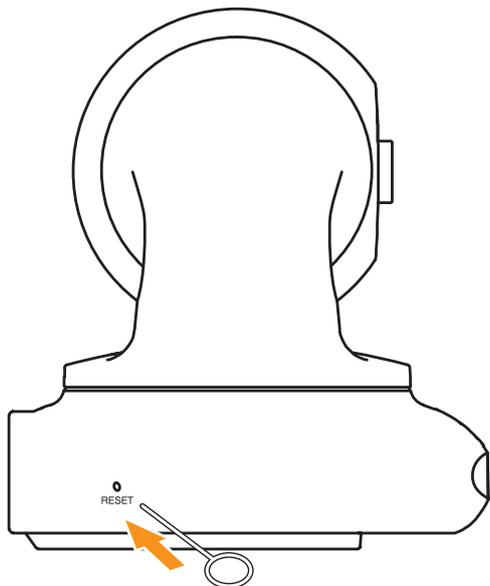
以上で初期設定に戻りました。

カメラのスイッチで戻す方法

1 カメラからLANケーブルを外す

※ 電源は入った状態で操作します。

2 ① カメラの [RESETスイッチ] を細いピンなどで約10秒間押す



- ② [POWERランプ] が点滅したらピンを離す
- ③ [POWERランプ] が点灯するまで待つ

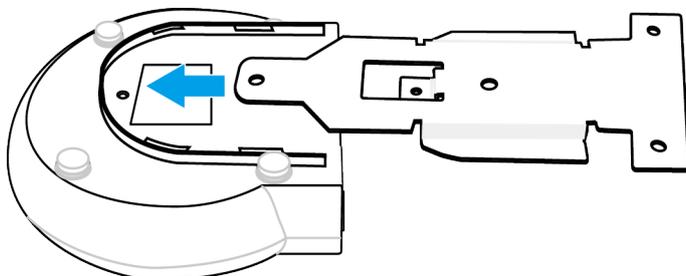


カメラが再起動します。
以上で初期設定に戻りました。

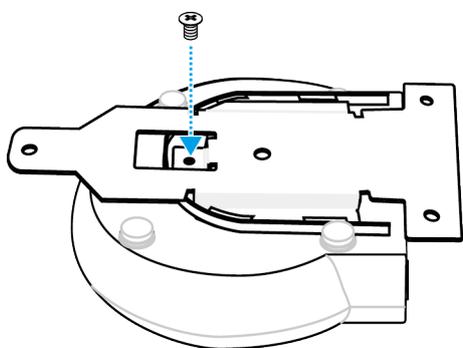
天井に固定する方法

以下の方法でカメラに添付のネジと台座で天井に固定することができます。

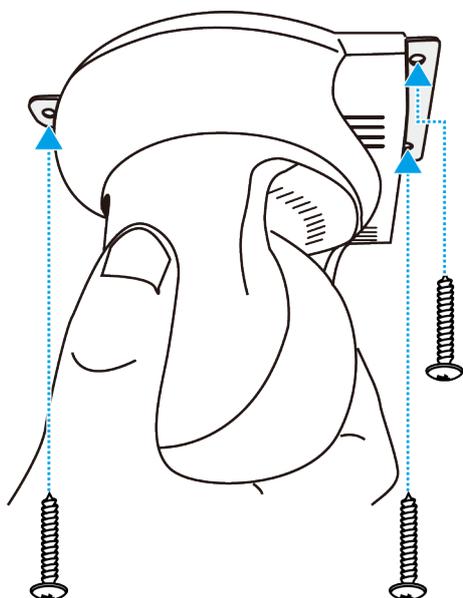
1 添付の台座をカメラの底に差し込む



2 ネジで1カ所固定する



3 天井にネジで3カ所固定する



※ 石こうボードなど、中空の壁に取り付ける場合は、落下しないよう適切な器具で固定してください。

ヒント Live View画面で「パン・チルト反転」をオンにすると動作方向が反転します



映像を180°反転させるには、カメラの設定画面から [ビデオ] → [映像設定] → [カメラ設置角度] で [180°] を選択します。（「映像設定」P.61参照）

以上で天井への設置は完了です。

設定画面のリファレンス

※設定画面の開き方は、[「設定画面の開き方」 P.90](#)をご覧ください。

基本設定	56 ページ
ビデオ	61 ページ
動作検知	64 ページ
保存設定	67 ページ
パン・チルト	72 ページ
システム	75 ページ
システム情報	77 ページ
カメラ共有	78 ページ
アカウント管理	79 ページ

基本設定

ネットワーク

Qwatch

- 基本設定
- ネットワーク
- 無線設定
- iobb.net設定
- RTSP
- 時刻設定
- メール設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- パン・チルト

ネットワーク

ネットワークタイプ: IPアドレス自動取得(DHCP) ▼

IPアドレス固定設定

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

プライマリーDNS:

セカンダリーDNS:

HTTPポート番号: 24626

設定

ネットワーク設定	
ネットワークタイプ	カメラのIPアドレスの設定方法を、IPアドレス自動取得（DHCP）/IPアドレス固定設定から選択します。 ※ ネットワークの設定にあわせて設定します。
IPアドレス固定設定 ※上記「ネットワークタイプ」で「IPアドレス固定設定」を選択した場合のみ以下を設定します。	
IPアドレス	IPアドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。
プライマリーDNS	使用するDNSを設定します。
セカンダリーDNS	使用するDNSを設定します。
HTTPポート番号	カメラが使用するポート番号を設定します。 ※ 同じネットワーク内に別のカメラがある場合、HTTPポート番号は一緒にしないでください。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐじに戻る

無線設定

Qwatch
Live View 設定

- 基本設定
 - ネットワーク
 - 無線設定
 - iobb.net設定
 - RTSP
 - 時刻設定
 - メール設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- バン・フィルト
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- アカウント管理

無線設定

無線LAN接続:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ネットワークタイプ:	インフラストラクチャ
モード:	2.4GHz (B+G+N)
使用する帯域:	20/40 MHz
無線LANの検索:	<input type="button" value="検索"/> 検索ボタンを押してアクセスポイントのリストを表示してください。
SSID:	<input type="text"/>
チャンネル:	自動
暗号化方式:	なし
プレシェアードキー:	<input type="text"/>
WEPキーの種類:	16進
WEPキーの長さ:	64-Bit
デフォルトキー:	1
WEPキー 1:	<input type="text"/>
WEPキー 2:	<input type="text"/>
WEPキー 3:	<input type="text"/>
WEPキー 4:	<input type="text"/>

WPS

プッシュボタンで設定:

無線設定	
無線LAN接続	有効/無効を選択します。(初期値: 有効)
ネットワークタイプ	無線接続モードを設定します。インフラストラクチャモードのみ選択可能です。
モード	接続する通信規格を選択します。(2.4GHz(B+G+N)/2.4GHz(G+N)/2.4GHz(B+G)/2.4GHz(G)/2.4GHz(B)から選択) (初期値: 2.4GHz(B+G+N))
使用する帯域	使用する帯域を選択します。(20/40MHz、20MHzから選択) (初期値: 20/40MHz)
無線LANの検索	[検索] 押すと、Wi-Fiルーターを検索します。
SSID	接続するWi-FiルーターのSSIDを入力します。
チャンネル	接続するWi-Fiルーターのチャンネル(自動のみ)が表示されます。 ※選択はできません。
暗号化方式	接続する無線LANルーターの暗号化方式を選択します。(WPA2-PSK (AES) /WPA-PSK(TKIP) /WEP、なし から選択)
プレシェアードキー	暗号化方式が [WPA-PSK(TKIP)] または [WPA2-PSK(AES)] の場合、暗号キーを入力します。 ※ 8~63文字のASCII文字
WEPキーの種類	暗号化方式が [WEP] の場合、WEPキーの種類 (16進/ASCII) を選択します。
WEPキーの長さ	暗号化方式が [WEP] の場合、WEPキーの長さ (64Bit/128Bit) を選択します。
デフォルトキー	暗号化方式が [WEP] の場合、WEPキーのデフォルトキー番号を選択してください。
WEPキー1~4	暗号化方式が [WEP] の場合、暗号キーを入力します。デフォルトキーで選択されたキーを入力してください。 ※ 16進 (16進数) の場合は0~9またはA~Fの文字列 ※ ASCIIの場合は半角英数字
WPS	
プッシュボタン設定	プッシュボタンを押してWPS接続をおこないます。 ※ [PBC開始] を押した後、2分間待ち受けします。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

iobb.net設定

Qwatch

- 基本設定
- ネットワーク
- 無線設定
- iobb.net設定
- RTSP
- 時刻設定
- メール設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定

iobb.net設定

iobb.net: プリセット 有効 無効

ダイナミックDNSサービス利用登録規約

この規約は、株式会社アイ・オー・データ機器（以下、弊社という）が提供するダイナミックDNSサービス（以下「本サービス」）を利用する際の条件 並びにお客様(以下、利用者という)が本サービスをご利用の結果収集される利用者情報の取扱いを定めたものです。

ホスト名: .iobb.net

ステータス: 正しく設定されました。

UPnP機能: 有効 無効

iobb.net設定				
iobb.net	プリセット/有効/無効を選択します。（初期設定：プリセット） ※ [有効] または [無効] にすると、スマートフォン/タブレットからQRコネク+でカメラを登録することができません。			
シリアルナンバー	[iobb.net] の設定を [有効] にした場合、カメラのシリアル番号 (S/N) を入力します。 ※ 大文字英数字12桁 ※ シリアル番号 (S/N) は ユーザーIDに該当します。 ※ カメラのシリアル番号 (S/N) は、カメラ背面に貼られているシールにある英数字です。（例：ABC1234567ZX）			
パスワード	[iobb.net] の設定を [有効] にした場合、iobb.netに登録したパスワードを入力します。 ※ 使用可能な文字数は、6～8文字 ※ 事前にWEBブラウザより「 http://ioportal.iodata.jp/ 」 にアクセスし、iobb.netのユーザー登録をおこなってください。			
ホスト名	iobb.netに登録したホスト名を入力します。 ※ xxxx.iobb.netの場合、「xxxx」のみ入力します。 ※ 初期設定：wcam-（半角英数字7文字）.iobb.net			
ステータス	現在の状態が表示されます。 ※ [設定] をクリック後、ステータスが反映されるまで、しばらく時間がかかります。			
UPnP機能	有効/無効を選択します。（初期値：有効）			
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; border: 1px solid #ccc;">有効</td> <td style="border: 1px solid #ccc;">UPnP 対応ルーターのUPnP 機能を利用して、ルーターへ接続します。</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid #ccc;">無効</td> <td style="border: 1px solid #ccc;">ルーターのポートフォワーディングの設定を手動でおこなってください。ルーターがUPnPに非対応の場合は無効にしてください。</td> </tr> </table>	有効	UPnP 対応ルーターのUPnP 機能を利用して、ルーターへ接続します。	無効
有効	UPnP 対応ルーターのUPnP 機能を利用して、ルーターへ接続します。			
無効	ルーターのポートフォワーディングの設定を手動でおこなってください。ルーターがUPnPに非対応の場合は無効にしてください。			

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

RTSP

Qwatch

- 基本設定
- ネットワーク
- 無線設定
- iobb.net設定
- RTSP
- 時刻設定
- メール設定

RTSP設定

RTSPポート:	
MJPEG RTSP Path:	ipcam_mjpeg.sdp
H.264 RTSP Path:	ipcam_h264.sdp
アクセス制限:	制限あり ▼

設定

RTSP設定	
RTSPポート	カメラ映像を配信するポートを設定します。 Internet ExplorerとQwatchViewは、設定したRTSPポート番号を使用して映像を表示します。 ※ 手でポートを開放される場合は、本ポート番号の開放も忘れずにおこなってください。 ※ 同じネットワーク内に別のカメラがある場合、RTSPポート番号は一緒にしないでください。
MJPEG RTSP Path	MJPEGの映像配信に使用するパスを変更できます。 (例) rtsp:// IP:port番号/ [変更したパス] .sdp
H.264 RTSP Path	H264の映像配信に使用するパスを変更できます。 (例) rtsp:// IP:port番号/ [変更したパス] .sdp
アクセス制限	設定したRTSP Pathへアクセスした場合に、ユーザ認証をおこなうかどうかを設定します。 [有効] の場合、ユーザ認証をおこないます。 ※ 既にWEBブラウザまたはQwatchViewからログインをおこなっている場合は、再度ユーザ認証を聞かれることはありません。

時刻設定

Qwatch

- 基本設定
- ネットワーク
- 無線設定
- iobb.net設定
- RTSP
- 時刻設定
- メール設定

時刻設定

モード:	<input checked="" type="radio"/> NTPサーバーとの同期 <input type="radio"/> 手動設定
日時設定:	[] / [] / [] [] : [] : []
	PCの時刻に設定
NTPサーバー:	ntp.nict.jp

設定

時刻設定					
モード	時刻の設定方法を選択します。(初期値: NTPサーバーとの同期)				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; background-color: #e6f2ff;">NTPサーバーとの同期</td> <td>NTPサーバーより時間を取得し、時間を設定します。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e6f2ff;">手動設定</td> <td>手動で時間を設定します。時間は電源を入れなおした場合、リセットされます。</td> </tr> </table>	NTPサーバーとの同期	NTPサーバーより時間を取得し、時間を設定します。	手動設定	手動で時間を設定します。時間は電源を入れなおした場合、リセットされます。
NTPサーバーとの同期	NTPサーバーより時間を取得し、時間を設定します。				
手動設定	手動で時間を設定します。時間は電源を入れなおした場合、リセットされます。				
日時設定	モードで [手動設定] を選択した場合、日時を入力します。 [PCの時刻に設定] を押すと、パソコンの時刻が入力されます。				
NTPサーバー	NTPサーバーのURLまたはIPアドレスを入力します。				

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

メール設定

Qwatch

- **基本設定**
- ネットワーク
- 無線設定
- iobb.net設定
- RTSP
- 時刻設定
- メール設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- バン・チルト

メール設定

メールサービス:	手動設定 ▼
SMTPサーバー名:	<input type="text"/>
SMTPポート番号:	<input type="text"/>
宛先メールアドレス:	<input type="text"/>
送信元メールアドレス:	<input type="text"/>
SSL/TLS:	なし ▼
SMTP認証:	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
アカウント:	<input type="text"/>
パスワード:	<input type="text"/>

メール設定	
メールサービス	手動設定/Yahoo!/Gmailから、送信元メールに対応するメールサービスを選択します。
SMTPサーバー名	[手動設定] の場合は、使用する送信元メールのSMTPサーバー名を入力します。 Yahoo!/Gmailの場合は、自動的に入力されます。
SMTPポート番号	[手動設定] の場合は、使用する送信元メールのSMTPポート番号を入力します。 Yahoo!/Gmailの場合は、自動的に入力されます。
宛先メールアドレス	動作検知の通知を受け取る方のメールアドレスを入力します。 (複数の宛先を設定する場合、“;” で区切ってください。最大127文字まで可能です。)
送信元メールアドレス	送信元メールアドレス (Yahoo!/Gmailなどのメールアドレス) を入力します。
SSL/TLS	送信元メールに対応する暗号化方式を選択します。(なし、SSL v2/v3、TLS v1 から選択) Yahoo!/Gmailの場合は自動的に選択されます。
SMTP認証	SMTPで認証をおこなう場合には有効にしてください。
アカウント	送信元メールのアカウント (ID) を入力します。
パスワード	送信元メールのパスワードを入力します。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もぐりを見る

映像設定

Qwatch
Live View 設定

- 基本設定
- **ビデオ**
 - 映像設定
 - 表示設定
 - 暗視設定
 - プライバシー設定
 - 音量設定
- 動作検知
- 保存設定
- システム

映像設定

フォーマット:	<input checked="" type="radio"/> H264 <input type="radio"/> MJPEG
解像度:	VGA (640 x 480) ▼
最大ビットレート:	1Mbps ▼
最大フレームレート:	15 ▼
	実際のフレームレートは、ネットワークの状態や設置環境の明るさに応じて変化します。
周波数:	東日本 (50Hz) ▼
カメラ設置角度:	0° ▼
タイムスタンプ:	ON ▼

設定

映像設定				
フォーマット	カメラ映像のファイル形式をH264/MJPEGから選択します。(初期値: H264) ※ H264に対応していないブラウザでは、MJPEGで表示されます。また、HDの解像度を選択した場合、動作検知が無効になります。			
解像度	解像度を選択します。(初期値: VGA(640x480))			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">フォーマットで「H264」を選択した場合</td> <td>HD(1280x720)/VGA(640x480)/QVGA(320x240)から選択します。</td> </tr> <tr> <td>フォーマットで「MJPEG」を選択した場合</td> <td>VGA(640x480)/QVGA(320x240) から選択します。</td> </tr> </table>	フォーマットで「H264」を選択した場合	HD(1280x720)/VGA(640x480)/QVGA(320x240)から選択します。	フォーマットで「MJPEG」を選択した場合
フォーマットで「H264」を選択した場合	HD(1280x720)/VGA(640x480)/QVGA(320x240)から選択します。			
フォーマットで「MJPEG」を選択した場合	VGA(640x480)/QVGA(320x240) から選択します。			
画質	フォーマットで「MJPEG」を選択した場合に設定します。 最高/高/普通/低/最低から選択します。(初期値: 普通)			
最大ビットレート	フォーマットで「H264」を選択した場合、最大ビットレートを選択します。 (100kbps~3Mbpsから選択) (初期値: 1Mbps)			
最大フレームレート	最大フレームレートを選択します。(初期値: 15) ※ 実際のフレームレートは、ネットワークの状態や設置環境の明るさに応じて変化します。 ※ 最大フレームレートを“5”に設定すると、画面がちらついて見える場合があります。その場合は、最大フレームレートをあげてください。			
	解像度で「HD(1280x720)」を選択した場合	5/10/15/20/24から選択します。		
	解像度で「VGA(640x480)」または「QVGA(320x240)」を選択した場合	5/10/15/20/30から選択します。		
周波数	東日本 (50Hz) /西日本 (60Hz) から選択します。(初期値: 東日本 (50Hz))			
カメラ設置角度	0° / 180° から選択します。(初期値: 0°) 天井などに設置した場合 (逆さまに設置した場合) は180° を選択します。			
タイムスタンプ	ON/OFFから選択します。(初期値: ON) ライブ映像に日時情報を表示しない場合は、OFFを選択します。			

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

表示設定

Qwatch

- 基本設定
- **ビデオ**
 - 映像設定
 - 表示設定
 - 暗視設定
 - プライバシー設定
 - 音量設定
- 動作検知
- 保存設定
- バン・チルト
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- アカウント管理

表示設定

2016-11-02 18:24:47



輝度: 6

コントラスト: 6

彩度: 6

鮮明度: 6



初期値に戻す
設定

表示設定	
輝度	映像の明るさを設定します。(1~10の間で設定します) (初期値: 6)
コントラスト	明暗の差を設定します。(1~10の間で設定します) (初期値: 6)
彩度	映像の色の濃さを設定します。(1~10の間で設定します) (初期値: 6)
鮮明度	映像の鮮やかさを設定します。(1~10の間で設定します) (初期値: 6)

暗視設定

Qwatch

Live View 設定

- 基本設定
- **ビデオ**
 - 映像設定
 - 表示設定
 - 暗視設定

暗視設定

自動切り替え機能: 有効 無効

設定

暗視設定	
自動切り替え機能	有効/無効を選択します。(初期値: 有効) [有効] を選択すると、周りの明るさを感じし、自動的に暗視モードに切り替わります。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

プライバシー設定

プライバシー設定	
プライバシー機能	有効/無効を選択します。(初期値：無効)
表示設定	[暗転]のみ選択できます。
スケジュール機能	スケジュールを設定する場合は[有効]を選択し、時間を設定します。(初期値：無効)
時間設定	スケジュール機能の有効時、プライバシー機能を有効にする時間を設定します。 ※ スケジュールの開始と終了は、3分以上に設定してください。

音量設定

音量設定	
ミュート	ON/OFFを選択します。ONにするとカメラのマイクを消音にします。(初期値：OFF)
音量	カメラのマイクの音量を設定します。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

動作検知

動作検知設定

Qwatch
Live View 設定

- 基本設定
- ビデオ
- **動作検知**
 - 動作検知設定
 - 範囲設定
 - スケジュール機能設定
 - FTP設定
- 保存設定

動作検知設定

動作検知機能:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
動作検知する間隔:	5秒 ▼
撮影方法:	スナップショット ▼
動作検知時の録画時間:	1秒 ▼
メールで通知:	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
撮影したファイルの送信先:	指定した保存先(LAN DISK/SDカード) ▼

設定

動作検知設定	
動作検知機能	有効/無効を選択します。(初期値: 無効) ※ [ビデオ] → [映像設定] メニューで [解像度] を [HD(1280×720)] にすると動作検知機能を有効にできません。解像度を変更してご利用ください。([映像設定] P.61参照)
動作検知する間隔	動作検知する間隔を選択します。(1/3/5/10/15/20/30/45/60秒から選択) (初期値: 5秒) ※ 例えば5秒に設定した場合、カメラは5秒ごとに設定した範囲内に動きがあるかを確認します。 ※ 撮影枚数が多くなりすぎた場合は、「動作検知する間隔」を長めに設定すると撮影枚数が減ります。
撮影方法	動作検知した際の撮影方法を、撮影しない、スナップショット(静止画)または動画から選択します。 (初期値: スナップショット) ※ [動画] を選択した場合、録画できるファイル容量は最大2MBです。(2MBになると自動で録画を停止します。)
動作検知時の録画時間	動作検知してから何秒間録画するかを選択します。(1/2/3/4/5/10秒から選択) (初期値: 1秒)
メールで通知	動作検知した際の画像をメールに送信する場合は、「有効」を選択します。(初期値: 無効) ※ メール設定は [基本設定] → [メール設定] メニューでおこないます。([メール設定] P.60参照)
撮影したファイルの送信先	動作検知した際の画像の送信先を選択します。(指定した保存先(LAN DISK/SDカード) /メールに添付 から選択) ※ 動作検知した際の画像は上書き保存することができません。 保存先の容量がなくなった場合は、不要なファイルを削除して、容量を空けてください。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

範囲設定

Qwatch
Live View 設定

- 基本設定
- ビデオ
- **動作検知**
 - 動作検知設定
 - 範囲設定**
 - スケジュール機能設定
 - FTP設定
- 保存設定
- パネル
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- アカウント管理

範囲設定

範囲1
 感度
 しきい値

範囲2
 感度
 しきい値

範囲3
 感度
 しきい値

範囲設定	
範囲	検知する範囲を設定します。 ※ 検知対象の範囲を狭くすると、検知精度を上げることができます。 ※ 範囲は3つまで設定できます。
感度	検知する感度の設定をします。(10~90で設定します)(初期値:90) ※ 感度を上げると、検知しやすくなります。検知しすぎる場合は、感度を下げます。
しきい値	検知する画像の変化量を設定します。(0~100で設定します)(初期値:3) ※ 値を小さくすると、より小さな変化でも検知することができます。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

スケジュール機能設定

Qwatch
Live View [設定](#)

- 基本設定
- ビデオ
- **動作検知**
 - 動作検知設定
 - 範囲設定
 - スケジュール機能設定
 - FTP設定

スケジュール機能設定

スケジュール機能: 有効 無効

時間設定: 開始 : ~ 終了 :

スケジュール機能設定	
スケジュール機能	有効/無効を選択します。(初期値: 無効)
時間設定	動作検知をおこなう時間帯を設定します。 ※ スケジュールの開始と終了は、3分以上に設定してください。

FTP設定

Qwatch
Live View [設定](#)

- 基本設定
- ビデオ
- **動作検知**
 - 動作検知設定
 - 範囲設定
 - スケジュール機能設定
 - FTP設定**
- 保存設定

FTP設定

FTPサーバー名:

ユーザー名:

パスワード:

ポート番号:

パス:

パッシブモード: 有効 無効

FTP設定	
FTPサーバー名	FTPのサーバー名を入力します。(IPアドレス等)
ユーザー名	FTPのユーザー名を入力します。
パスワード	FTPのパスワード名を入力します。
ポート番号	FTPで使用するポート番号を入力します。(通常21番)
パス	FTPサーバー内のフォルダーを指定します。 ※ 下層のフォルダーを設定する場合は、“/”で区切ってください。 ※ フォルダーおよびファイルを含めたフルパスで256文字まで入力できます。 ※ 半角英数字で指定します。 (例: disk1フォルダーの下のTS-WLC2フォルダーを設定する場合、disk1/TS-WLC2 と入力)
パッシブモード	FTPが正常に通信できていない場合、[有効]を選択します。(初期値: 無効)

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

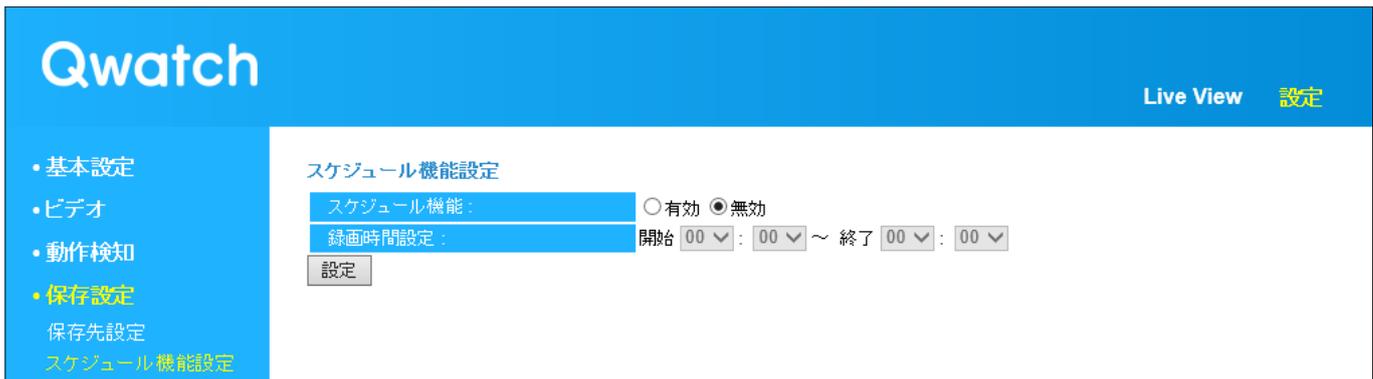
保存設定

保存先設定



保存場所	
保存先	「LAN DISK/SDカードへ写真を保存」  または「LAN DISK/SDカードへ映像を録画」  をクリックした際の保存先を選択します。 SDカード/LAN DISKから選択します。（初期値：SDカード）

スケジュール機能設定



スケジュール機能設定	
スケジュール機能	有効/無効を選択します。（初期値：無効）
時間設定	録画をおこなう時間帯を設定します。 ※ スケジュールの開始と終了は、3分以上に設定してください。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐりに戻る

LAN DISK保存設定

Live View 設定

Qwatch

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- **保存設定**
 - 保存先設定
 - スケジュール機能設定
 - LAN DISK保存設定
 - SDカード保存設定
 - SDカードファイル管理
 - ローカル保存設定
- システム
- システム情報
- カメラ共有

LAN DISK保存設定

ステータス:	非接続
保存場所(LAN DISK):	\\IPアドレス \共有フォルダー名 \ (フォルダー名)
録画容量不足の通知:	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
録画の自動停止時間:	指定なし
連続録画:	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
1ファイル当たりの最大サイズ:	500 MB
LAN DISKへの最大保存サイズ:	使用しない
複数のIPカメラの映像を1台のLAN DISKに録画する場合は、「LAN DISKへの最大保存サイズ」を設定する必要があります。この設定はLAN DISKの空き容量を超えないように設定してください。	
アクセス制限:	制限なし
ユーザー名:	
パスワード:	
設定	

LAN DISK保存設定					
ステータス	LAN DISKの状態を表示します。				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">非接続</td> <td>LAN DISKにファイルを保存できない状態です。LAN DISKが非接続または未設定または設定内容が間違っています。</td> </tr> <tr> <td>接続</td> <td>LAN DISKにファイルを保存できる状態です。</td> </tr> </table>	非接続	LAN DISKにファイルを保存できない状態です。LAN DISKが非接続または未設定または設定内容が間違っています。	接続	LAN DISKにファイルを保存できる状態です。
非接続	LAN DISKにファイルを保存できない状態です。LAN DISKが非接続または未設定または設定内容が間違っています。				
接続	LAN DISKにファイルを保存できる状態です。				
保存場所	<p>保存先LAN DISKのIPアドレスとフォルダー名を入力します。 (\\ IPアドレス \ 共有フォルダー名 \ (フォルダー名)) ※ ルートフォルダーに保存する場合は、「 \ (フォルダー名) 」は不要です。 ※ フォルダーおよびファイルを含めたフルパスで256文字まで入力できます。 ※ 保存先フォルダー名は半角英数字で指定します。 例) 以下の場所を保存先に指定する場合、「 \\192.168.0.200\disk\camera 」と入力します。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> IPアドレス 共有フォルダー フォルダー </div>				
録画容量不足の通知	有効にすると、録画容量が足りなくなった場合に、メールでお知らせします。(初期値: 無効) ※ メール設定は [基本設定] → [メール設定] メニューでおこないます。(「メール設定」P.60参照)				
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。(3分/10分/30分/指定なし から選択) (初期値: 指定なし) [指定なし]を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。				
連続録画	有効にすると、連続で録画します。(初期値: 無効) ※ 容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して(上書きして)、録画を続けます。				
1ファイル当たりの最大サイズ	1ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。(500MB/300MB/200MB/100MB/50MB/10MB から選択) (初期値: 200MB)				
LAN DISKへの最大保存サイズ	複数のカメラの映像を録画するときは、現在ご利用のカメラが録画できる最大容量を設定します。(使用しない/10GB/50GB/100GB/250GB/500GB/750GB/1000GB から選択) (初期値: 使用しない)				
アクセス権限	制限なし/制限ありを選択します。(初期値: 制限なし)				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">制限あり</td> <td>保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定されている場合に選択します。LAN DISKに登録したユーザー名とパスワードを設定します。</td> </tr> <tr> <td>制限なし</td> <td>保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定していない場合に選択します。</td> </tr> </table>	制限あり	保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定されている場合に選択します。LAN DISKに登録したユーザー名とパスワードを設定します。	制限なし	保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定していない場合に選択します。
制限あり	保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定されている場合に選択します。LAN DISKに登録したユーザー名とパスワードを設定します。				
制限なし	保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定していない場合に選択します。				
ユーザー名	上記、アクセス制限を [制限あり] にした場合、LAN DISKに登録したユーザー名とパスワードを入力し、設定します。				
パスワード					

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

SDカード保存設定

Qwatch

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- **保存設定**
 - 保存先設定
 - スケジュール機能設定
 - LAN DISK保存設定
 - SDカード保存設定**

SDカード保存設定

ステータス:	使用可能
残り容量:	1884 MB
録画容量不足の通知:	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
録画の自動停止時間:	指定なし ▼
連続録画:	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
1ファイル当たりの最大サイズ:	500 MB ▼

SDカード保存設定	
ステータス	SDカードの状態を表示します。
	SDカードが挿入されていません。 SDカードが取り付けられていないか、保存できない状態です。
	使用可能 SDカードにファイルを保存できる状態です。
残り容量	SDカードの空き容量を表示します。
録画容量不足の通知	有効にすると、録画容量が足りなくなった場合に、メールでお知らせします。(初期値:無効) ※ メール設定は [基本設定] → [メール設定] メニューでおこないます。(「 メール設定 」P.60参照)
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。(3分/10分/30分/指定なし から選択) (初期値:指定なし) [指定なし]を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。
連続録画	有効にすると、連続で録画します。(初期値:無効) ※ 容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して(上書きして)、録画を続けます。
1ファイル当たりの最大サイズ	1ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。 (500MB/300MB/200MB/100MB/50MB/10MB から選択) (初期値:200MB)
SDフォーマット	クリックすると、SDカードを初期化します。 ※ 初期化するとSDカード内のデータがすべて消えてしまいます。 SDカード内に保存された重要なデータについては、必ず定期的にバックアップをおこなってください。 接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。 (バックアップとは保存したデータを守るために、HDD・BD・DVDなどの記憶媒体にデータの複製を作成することです。データを移動させることはバックアップではありません。)
マウント解除	クリックすると、カメラの電源が入っている状態でもSDカードを取り外せます。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

SDカードファイル管理

Qwatch
Live View 設定

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
 - 保存先設定
 - スケジュール機能設定
 - LAN DISK保存設定
 - SDカード保存設定
 - SDカードファイル管理
 - Event
 - Schedule
 - Manual

SDカードファイル管理

SDカードに保存したファイルの管理を行います。

Event:
SDカード内のEventフォルダです。動作検知により撮影したスナップショット、動画ファイルが保存されています。

Schedule:
SDカード内のScheduleフォルダです。スケジュール設定を行って保存した動画ファイルが保存されています。

Manual:
SDカード内のManualフォルダです。手動で撮影したスナップショット、録画ファイルを保存しています。

SDカードファイル管理	
Event	動作検知により撮影したスナップショット、動画ファイルの一覧を表示します。 [選択] にチェックをつけ、[削除] をクリックすると、ファイルを削除できます。
Schedule	スケジュール設定をおこなって保存した動画ファイルの一覧を表示します。 [選択] にチェックをつけ、[削除] をクリックすると、ファイルを削除できます。
Manual	手動で撮影したスナップショット、動画ファイルの一覧を表示します。 [選択] にチェックをつけ、[削除] をクリックすると、ファイルを削除できます。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

ローカル保存設定

Qwatch

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- **保存設定**

ローカル保存設定

録画の自動停止時間:	指定なし ▼
1ファイル当たりの最大サイズ:	500 MB ▼

ローカル保存設定	
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。(3分/10分/30分/指定なし から選択) (初期値: 指定なし) [指定なし]を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。
1ファイル当たりの最大サイズ	1ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。 (500MB/300MB/200MB/100MB/50MB/10MB から選択) (初期値: 200MB)

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

パン・チルト

パン・チルト設定

Qwatch

Live View 設定

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- パン・チルト**
 - パン・チルト設定
 - パトロール設定
 - プリセット設定
 - ホームポジション設定

パン・チルト設定

回転スピード:	3
回転幅:	3
自動校正:	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
位置校正時間設定:	00 : 00
	<input type="button" value="手動校正"/>

パン・チルト設定	
回転スピード	カメラの回転スピードを設定します。(1~5から選択します) (初期値: 3)
回転幅	カメラの回転幅を設定します。(1~5から選択します) (初期値: 3)
自動校正	[有効] にすると、自動的にカメラの位置を校正します。(初期値: 無効)
位置校正時間設定	自動校正を [有効] に選択した場合、位置校正をおこなう時間を設定します。
手動校正	ボタンを押すとすぐにホームポジションの位置校正をおこないます。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

パトロール設定

Live View 設定

Qwatch

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- **パン・チルト**
 - パン・チルト設定
 - パトロール設定
 - プリセット設定
 - ホームポジション設定
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- アカウント管理

パトロール設定

パトロール範囲: プリセット1 → プリセット2 → プリセット3 → プリセット4

パトロールモード: 有効 無効

パトロール時間: 開始 09:00 ~ 終了 17:00

プリセット位置での停止時間: 15 分

プレビュー:

2016-11-02 13:24:47



プレビュー 設定

パトロール設定	
パトロール範囲	パトロールする範囲を設定します。 [準備>>>プリセットの設定をする] P.21で設定した向きを選択します。
パトロールモード	[有効] [無効] を選択します。(初期値: 無効)
パトロール時間	パトロールする時間帯を設定します。 ※ 開始時間と終了時間を同じ時間にすると、24時間連続でパトロールし続けます。 (下記、ご注意参照)
プリセット位置での停止時間	プリセット設定した位置で停止する時間を設定します。(15/30/45/60分から選択) (初期値: 15)

【注意】 パトロール機能を使い続けると、パン・チルト機構などの部品が消耗し、故障に至る可能性があります

パトロール機能を使い続けると、パン・チルト機構などの部品が消耗し、故障に至る可能性があります。本製品におけるパン・チルトの耐久目安は、移動から停止までの動作を1回として約50,000回となります。下表を参考に設定してください。

パトロール時間	プリセット位置での停止時間	目安時間
開始0:00~終了0:00 (毎日24時間動作する場合)	15分	約12,500時間(約1.4年)
	30分	約25,000時間(約2.8年)
	45分	約37,500時間(約4.2年)
	60分	約50,000時間(約5.7年)

※ 本製品の保証期間はご購入時より1年間です。上記は設定の際の目安時間であり、耐久時間を保証するものではありません。1年経過後に目安時間まで至らず故障した際も保証対象外となります。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

プリセット設定

Live View 設定

Qwatch

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- **パン・チルト**
 - パン・チルト設定
 - パトロール設定
 - プリセット設定
 - ホームポジション設定
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- アカウント管理

プリセット設定

プリセット番号: 設定 削除

プレビュー:



← ↑ ↓ → 初期位置

プリセット設定	
プリセット番号	[←] [↑] [↓] [→] [初期位置] をクリックして、設定したい方向にカメラの向きを動かし、プリセット番号を1～4から選択して、カメラの向きを登録します。 また、登録したプリセットの情報を削除することができます。

ホームポジション設定

Live View 設定

Qwatch

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- **パン・チルト**
 - パン・チルト設定
 - パトロール設定
 - プリセット設定
 - ホームポジション設定

ホームポジション設定

ホームポジション: 設定

ホームポジション設定	
ホームポジション	カメラのホームポジションを設定します。(デフォルト/1/2/3/4 から選択) (初期値: デフォルト)

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

システム設定

Qwatch

Live View 設定

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- パン・チルト
- システム**
 - システム設定
 - 詳細設定

システム設定

カメラ名:	CAM- <input type="text"/>
管理者パスワード:	<input type="password"/>
パスワード再入力:	<input type="password"/>
ランプ:	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF

システム設定	
カメラ名	カメラの名前を設定します。(初期値: CAM- (MACアドレス下4桁))
管理者パスワード	管理者パスワードを設定します。(初期値: カメラのMACアドレス) ※ 半角で入力 ※ a~z、A~Z、0~9の文字を使用
パスワード再入力	「管理者パスワード」と同じパスワードを入力します。
ランプ	カメラのランプを消す場合は [OFF] を選択します。(初期値: ON)

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

詳細設定

Live View **設定**

Qwatch

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- バン・チルト
- **システム**
 - システム設定
 - 詳細設定**
- システム情報
- カメラ共有
- アカウント管理

ファームウェアの更新

ファームウェアの自動更新: 有効 無効 設定

ファイル名: 参照... 更新

設定の保存と復元

設定の保存: 実行

復元: 参照... 復元

リセット

システムの再起動: 今すぐ再起動

初期値に戻す: ネットワーク設定を保持 出荷時設定 初期化

ファームウェアの更新	
ファームウェアの自動更新	[有効] にすると、WEBブラウザからカメラにアクセスした際にファームウェアの更新がないかを確認します。(1日1回) またファームウェアの更新がある場合は、更新をお知らせする画面が表示されます。(初期値: 有効)
ファイル名	ダウンロードしたファームウェアのアップデートファイルを指定します。[更新] を押すと、ファームウェアを更新します。
設定の保存と復元	
設定の保存	[実行] を押すと、カメラの各種設定情報をファイルに保存できます。(保存先を選択し、[config.bin] ファイルを保存します。)
復元	[設定の保存] で保存したファイルからカメラの各種設定情報を読み込み、復元します。[参照] を押し、[設定の保存] で保存したファイルを読み込み、[復元] を押します。
リセット	
システムの再起動	[今すぐ再起動] を押すと、カメラを再起動します。 ※ 数分かかる場合があります。
初期値に戻す	[出荷時設定] を選択して、[初期化] を押すと、カメラの各種設定情報が初期設定に戻ります。 [基本設定] メニューの [ネットワーク] および [無線設定] メニュー内にある設定を保持し、その他の設定を初期設定に戻りたい場合は、[ネットワーク設定を保持] を選択して、[初期化] を押すと、カメラの各種設定情報が初期設定に戻ります。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐもぐ戻る

システム情報

Qwatch

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- パン・チルト
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- アカウント管理

システム

ファームウェアバージョン:	v
ActiveXバージョン:	v
起動時間:	36 min 40 sec
システム時刻:	2014/06/19 15:11:01

LAN

IPアドレス:	
サブネットマスク:	
デフォルトゲートウェイ:	
プライマリーDNS:	
セカンダリーDNS:	
MACアドレス:	
HTTPポート番号:	

無線LAN

無線LANリンクステータス:	接続
SSID:	
チャンネル:	
暗号化方式:	WPA2-PSK(AES)
AP MACアドレス:	

システム	
ファームウェアバージョン	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。
ActiveXバージョン	カメラがサポートしているActiveXのバージョン情報を表示します。
起動時間	最後にカメラの電源を入れてから、現在までの時間を表示します。
システム時刻	時刻を表示します。
LAN	
IPアドレス	カメラのIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	カメラのサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	カメラのデフォルトゲートウェイを表示します。
プライマリーDNS	プライマリーDNSを表示します。
セカンダリーDNS	セカンダリーDNSを表示します。
MACアドレス	カメラのMACアドレスを表示します。
HTTPポート番号	カメラのポート番号を表示します。
無線LAN	
無線LANリンクステータス	Wi-Fiの接続状態を表示します。
SSID	接続しているWi-FiルーターのSSIDを表示します。
チャンネル	接続しているWi-Fiルーターで使用中のチャンネルを表示します。
暗号化方式	接続しているWi-Fiルーターの暗号化方式を表示します。
AP MACアドレス	接続しているWi-FiルーターのMACアドレスを表示します。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

カメラ共有



カメラ共有	
QRコードを作成する	「作成開始」をクリックすると、アカウントの選択画面が表示されます。アカウントを選択し、視聴期限付きQRコードを作成します。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

アカウント管理

ユーザー設定

ユーザー設定	
ユーザーリスト	現在登録されているユーザー権限のアカウントのユーザー名を表示します。
追加	ユーザー権限のアカウントが追加できます。[追加] をクリックすると、ユーザー名とパスワードの登録画面が表示されます。 ※ パスワードは半角で入力し、a~z、A~Z、0~9の文字を使用してください。
編集	パスワードの変更がおこなえます。[ユーザーリスト] からユーザー名を選択し、[編集] をクリックすると、パスワードの変更画面が表示されます。 ※ パスワードは半角で入力し、a~z、A~Z、0~9の文字を使用してください。
削除	[ユーザーリスト] からユーザー名を選択し、[削除] をクリックすると選択したアカウントを削除することができます。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

権限設定

Qwatch
Live View 設定

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- パン・チルト
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- **アカウント管理**
 - ユーザー設定
 - 権限設定
 - 匿名ログイン設定

権限設定

ユーザーリスト:

使用 機能	説明
<input type="checkbox"/> スナップショット/録画(ローカル)	パソコンへの保存ができます。
<input type="checkbox"/> スナップショット/録画(LAN DISK/SDカード)	LAN DISK/SDカードへの保存ができます。
<input type="checkbox"/> パン・チルト/プリセット/パンチルト反転	パン・チルトの操作ができます。
<input type="checkbox"/> 全画面/ズーム	デジタルズームを使用できます。
<input type="checkbox"/> パトロール	パトロールモードを使用できます。
<input type="checkbox"/> プライバシー	プライバシーモードを使用できます。
<input type="checkbox"/> 暗視	暗視モードを使用できます。
<input type="checkbox"/> 動作検知	動作検知モードを使用できます。
<input type="checkbox"/> ミュート	マイク音量の調整ができます。
<input type="checkbox"/> QRコード作成	QwatchView上の機能です。
<input type="checkbox"/> ライブラリ管理	QwatchView上の機能です。

権限設定		
ユーザーリスト	現在登録されているユーザー権限のアカウントのユーザー名を表示します。	
使用機能	ユーザーリストで選択したアカウントに許可する機能にチェックを付けます。許可しない機能のチェックは外し、「権限を変更する」をクリックすると反映されます。	
	スナップショット/録画 (ローカル)	ローカルドライブへスナップショットの保存や映像の録画を許可します。
	スナップショット/録画 (LAN DISK/SDカード)	LAN DISKやSDカードへスナップショットの保存や映像の録画を許可します。
	パン・チルト/プリセット/パンチルト反転	パン・チルトとプリセットの操作ができます。
	全画面/ズーム	全画面表示やズームができます。
	パトロール	パトロール機能が使用できます。
	プライバシー	プライバシー機能が使用できます。
	暗視	暗視機能が使用できます。
	動作検知	動作検知機能のオン/オフがおこなえます。
	ミュート	マイク音量の調整がおこなえます。
	QRコード作成	QwatchViewで共有ユーザー用のQRコードを作成できます。
ライブラリ管理	QwatchViewのライブラリメニューからSDカードやLAN DISK内のデータを確認することができます。	

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

匿名ログイン設定

Qwatch
Live View [設定](#)

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- バン・チルト
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- **アカウント管理**
 - ユーザー設定
 - 権限設定
 - 匿名ログイン設定

匿名ログイン設定

匿名でログイン: 有効 無効

[設定](#)

匿名ログイン設定	
匿名でログイン	有効/無効を選択します。有効にすると、ユーザー名やパスワードを入力せずにカメラの映像を見ることができます。(初期値: 無効)

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

困ったときには

困ったときには	83 ページ
設定画面の開き方	90 ページ
アフターサービスについて	97 ページ

困ったときには

トラブルの内容	参照ページ
映像が見られない	84 ページ
Wi-Fiでカメラに接続できない	84 ページ
有線LANでカメラに接続できない	84 ページ
Wi-Fi接続で動作が不安定	84 ページ
外出先からカメラの視聴ができない	85 ページ
添付の「かんたん接続シート」を紛失したため、外出先のパソコンからカメラの映像を表示できない	85 ページ
「Magical Finder」でデバイス名（カメラ名）が表示されない（パソコンの場合）	86 ページ
Windows 10（MicroSoft Edge）で視聴できない	86 ページ
管理者用のユーザー名やパスワードを忘れてしまった	86 ページ
ActiveXがインストールできない	87 ページ
カメラの映像が遅延する、止まる	87 ページ
録画時間の目安について	87 ページ
動作検知設定時、「テストメールを送信」でエラーになってしまう	88 ページ
動作検知設定時、「テストファイルを送信」でエラーになってしまう	88 ページ
録画した映像の再生ができない	88 ページ
天井に取り付けたところ、映像が反転してしまう	88 ページ
表示される時刻があっていない	89 ページ
パン・チルトが動作しない	89 ページ
操作パネルに表示されないボタンがある	89 ページ

ヒント スマートフォン/タブレット用アプリ「QwatchView」の使い方については、「QwatchViewの画面で見るマニュアル」をご覧ください



- ① QwatchViewを開きます。
 - ② 画面左上のメニューをタップします。
 - ③ 「画面で見るマニュアル」をタップして開きます。
- ※ 弊社Webページからもご覧いただけます。 <http://www.iodata.jp/lib/manual/qwatchview/>

ヒント ファームウェアは、最新版にアップデートしてください



ファームウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。
 （「ファームウェアのバージョンアップ方法」P.49参照）

ヒント 弊社Webページにも製品Q&Aを掲載しています



併せてご覧ください。 <http://www.iodata.jp/support/qa/camera/>

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

Q 映像が見られない

対処 以下の弊社サイトをご覧ください、順を追ってご確認ください。
<http://www.iodata.jp/support/qa/wizard/camera1/001.html>



Q Wi-Fiでカメラに接続できない

対処 手でWi-Fiルーターに接続した場合（カメラの設定画面→「基本設定」→「無線設定」から接続した場合）、入力したSSIDと暗号キー（プレシェアードキーまたはWEBキー）が正しいかどうかご確認ください。

対処 ご利用のWi-Fiルーターにセパレート機能がある場合は、セパレート機能を使用せずにカメラを接続できるかどうかご確認ください。

Q 有線LANでカメラに接続できない

対処 カメラのLANランプが点灯しているかどうかご確認ください。LANランプが消灯している場合は、以下を順にご確認ください。

- ・別のLANケーブルがある場合は、変更してみてください。
- ・ルーターに他に空いているLANポートがあれば、変更してみてください。
- ・カメラを初期化してから、再設定してみてください。（「初期設定に戻す方法」P.52参照）

Q Wi-Fi接続で動作が不安定

対処 有線LANで接続してご確認ください（ルーターとカメラのLANポートをお手持ちのLANケーブルで接続してください）。

もし、カメラ以外の機器でも無線での接続が不安定な場合は、ご利用のルーターのメーカー様にお問い合わせください。

対処

- ・Wi-Fiルーターとカメラ間の距離を短くしてご確認ください。
- ・間に障害物がある場合は、障害物を取り除いて見通しをよくしてご確認ください。
- ・Wi-Fiルーターのチャンネル設定を変更してください。どちらか一方のルーター機能を無効にしてご確認ください。

Q 外出先からカメラの視聴ができない

対処 カメラのACCESSランプが消灯している場合は、Wi-Fi接続ができておりません。一時的に有線LANで接続してご確認ください（ルーターとカメラのLANポートをお手持ちのLANケーブルで接続してください）。

対処 添付の「かんたん接続シート」に記載の「外出先からのアクセス（PC）用URL」を確認し、URLがまっているかどうかご確認ください。

対処 カメラを接続したネットワーク環境でルーターが2重になっている場合は、外部からカメラにアクセスができません。例えば、インターネット回線のモデムにルーター機能があり、更にブロードバンドルーターを接続している場合はルーター機能が2重になっている場合があります。

どちらか一方のルーター機能を無効にしてご確認ください。

（変更方法については、ルーターのメーカー様にお問い合わせください）

対処 マンションなどの標準の回線でインターネット接続している場合や、モバイルルーター、WiMAXルーターを使用している場合は、マンション等の管理会社や、契約しているプロバイダーに「グローバルIPアドレスが各部屋に割り当てられている環境かどうか」をご確認ください。

（ご不明な場合は、マンション等の管理会社や、契約しているプロバイダーにお問い合わせください）

対処 ルーター側で手動でポート開放設定をおこないアクセスできるかどうか、ご確認ください。

※ ポートの開放については、ルーターの取扱説明書またはメーカーにてご確認ください。

※ ポート開放には、カメラのポート番号とIPアドレスの情報が必要です。カメラと同一ネットワーク内にあるパソコンからカメラの設定画面を開き、[「システム情報」 P.77](#)メニュー内にある「HTTPポート番号」と「IPアドレス」をメモしてください。詳しくは、以下のURLをご覧ください。

<http://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s19491.htm>

Q 添付の「かんたん接続シート」を紛失したため、外出先のパソコンからカメラの映像を表示できない

対処 カメラの設定画面を開き、「ホスト名」と「HTTPポート番号」を確認します。

① カメラと同じルーターに接続しているパソコンでカメラの設定画面を開きます。

② 「システム情報」メニューを開きます。（[「システム情報」 P.77](#)参照）

③ 「HTTPポート番号」をメモします。

④ 「基本設定」→「iobb.net設定」メニューを開きます。（[「iobb.net設定」 P.58](#)参照）

⑤ 「ホスト名」（“wcam-（半角英数字）.iobb.net”）をメモします。

⑥ 外出先のパソコンでWebブラウザを起動し、http://ホスト名:HTTPポート番号 にアクセスします。

（例）ホスト名が“wcam-1234567.iobb.net”、HTTPポート番号が“12345”の場合

“http://wcam-1234567.iobb.net:12345” にアクセスします。

Q 「Magical Finder」でデバイス名（カメラ名）が表示されない（パソコンの場合）

対処 カメラが起動中または再起動中の可能性があります。カメラが起動するまで40秒ほどお待ちください。

対処 セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

対処 ご利用のパソコンのウイルス対策ソフトなど、ファイアウォール機能が有効になっている場合は、ファイアウォール機能を一時的に停止、終了してご確認ください。

対処 Webブラウザがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、カメラの設定画面を呼び出す事ができません。Webブラウザの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。

▼Windowsの場合

- ① [Internet Explorer] 画面の [ツール] メニューの [インターネット オプション] をクリックします。
- ② [接続] タブをクリックし、[LANの設定] ボタンをクリックします。
- ③ すべてのチェックを外し、[OK] をクリックします。
- ④ [インターネット オプション] (または [インターネットのオプション]) へ戻りますので、[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

▼macOSの場合

- ① [アップルメニュー] → [場所] → [ネットワーク環境設定...] の順にクリックします。
- ② [プロキシ] タブをクリックし、以下の設定をおこないます。
- ③ 設定後、左上の (×) をクリックして、画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

対処 Wi-Fiでご利用の場合は、カメラのACCESSランプが点灯/点滅していることをご確認ください。

▼ACCESSランプが消灯している場合

Wi-Fi接続ができておりません。一時的に有線LANで接続してご確認ください（ルーターとカメラのLANポートをお手持ちのLANケーブルで接続してください）。

▼ACCESSランプが点灯/点滅している場合

パソコンを現在とは別の無線電波 (SSID) に接続してご確認ください。それでも表示されない場合は、一時的に有線LANで接続してご確認ください（ルーターとカメラのLANポートをお手持ちのLANケーブルで接続してください）。

Q Windows 10 (Microsoft Edge) で視聴できない

対処 Windows10の標準ブラウザ「Microsoft Edge」ではカメラ映像を表示することはできません。
[「設定画面の開き方」 P.90](#)の手順でInternet Explorerを開き、カメラ映像を表示してください。

Q 管理者用のユーザー名やパスワードを忘れてしまった

対処 初期設定はユーザー名：admin、パスワード：カメラのMACアドレス（12桁の半角大文字）になります。
 初期設定から変更していて忘れてしまった場合は、初期設定に戻してください。
[（「初期設定に戻す方法」 P.52参照）](#)
 初期設定に戻すと、その他の設定も初期化されますので、設定しなおしてください。

Q ActiveXがインストールできない

- 対処** Internet Explorerの設定を確認してください。
- ① Internet Explorerを開き、[ツール] → [インターネット オプション] の順にクリックします。
※ [ツール] が表示されていない場合は、キーボードの [Alt] キーを押してください。
 - ② [セキュリティ] → [レベルのカスタマイズ] の順にクリックします。
 - ③ [署名された ActiveX コントロールのダウンロード] (または [署名済み ActiveX コントロールのダウンロード]) の [ダイアログを表示する] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。
 - ④ Internet Explorerを利用してカメラにアクセスし、ActiveXのインストールができるかどうかご確認ください。

- 対処** ActiveXフィルターを無効にしてご確認ください。
- ① Internet Explorerを開き、[ツール] を開きます。
※ [ツール] が表示されていない場合は、キーボードの [Alt] キーを押してください。
 - ② [ActiveXフィルター] にチェックがついている場合は、チェックを外してください。
 - ③ Internet Explorerを利用してカメラにアクセスし、ActiveXのインストールができるかどうかご確認ください。

Q カメラの映像が遅延する、止まる

- 対処** お使いのスマートフォンによっては、高画質設定にすると、カメラの映像表示が遅くなる場合があります。主にスマートフォンを使用する場合は、カメラの設定画面の [ビデオ] → [映像設定] 画面にて、以下の設定に変更してお試しください。 ([「映像設定」 P.61参照](#))
- 解像度：QVGA
画質：普通
最大フレームレート：15

- 対処** Wi-Fiでご利用の場合は、有線LANで接続してご確認ください (ルーターとカメラのLANポートをお手持ちのLANケーブルで接続してください)。

Q 録画時間の目安について

- 対処** 映像設定により録画時間が異なります。以下を参考にし、カメラの設定画面の [ビデオ] → [映像設定] 画面にて設定してください。 ([「映像設定」 P.61参照](#))

フォーマット	解像度	フレームレート	1時間あたりの録画容量	1TBのHDDに録画可能時間
H.264	HD	24fps	約800MB	約1230時間
		15fps	約750MB	約1320時間
	VGA	30fps	約840MB	約1180時間
		15fps	約710MB	約1390時間
MJPEG	VGA	30fps	約1.8GB	約540時間
		15fps	約1.7GB	約560時間
	QVGA	30fps	約1.7GB	約560時間
		15fps	約1.7GB	約570時間

※ フレームレートは設置環境により設定値より低くなる場合があります。また、ファイルサイズはフレームレートの変動により増減します。

※ ローカル(PC)へ録画する場合、連続して録画ファイルを保存することができません。1つの録画ファイル (上限500MB)が作成される毎に表示されるメッセージにしたがって操作してください。

Q 動作検知設定時、「テストメールを送信」でエラーになってしまう

- 対処** 以下をご確認ください。
- ・カメラのIPアドレスを固定設定している場合は、「デフォルトゲートウェイ」および「プライマリーDNS」の設定が正しいかどうかご確認ください。（「[ネットワーク](#)」P.56参照）
 - ・カメラの設定画面の「動作検知」→「メール設定」に入力している「アカウント」と「パスワード」が正しいかどうかご確認ください。（「[メール設定](#)」P.60参照）
 - ・Gmailをご利用の場合は、ご利用のGmailアカウントについて「安全性の低いアプリの許可」を有効にする設定をおこなってください。

Q 動作検知設定時、「テストファイルを送信」でエラーになってしまう

- 対処** 以下をご確認ください。
- ・カメラのIPアドレスを固定設定している場合は、「デフォルトゲートウェイ」および「プライマリーDNS」、「セカンダリーDNS」の設定が正しいかどうかご確認ください。（「[ネットワーク](#)」P.56参照）
 - ・LAN DISK側のFTP設定にて、「userFTP」が設定されているかどうかご確認ください。
（詳しくはLAN DISKの取扱説明書をご覧ください）
 - ・カメラの設定画面の「動作検知」→「FTP設定」に入力している「パス」が正しいかどうかご確認ください。
※弊社製HDL2-AA、HDL-AA、HDL-XRW、HDL-XVWの各シリーズをご利用の場合
パスの最初に「sataraid1」を付け加える必要があります。（詳しくはLAN DISKの取扱説明書をご覧ください）
例）LAN DISKのdisk1フォルダーを指定する場合、「sataraid1/disk1」と入力してください。

Q 録画した映像の再生ができない

対処 OS XやmacOSの場合は、映像の再生に別途コーデックが必要となります。

対処 カメラの録画データは、「H.264」「MJPEG」のコーデックを使用しています。お使いの再生プレイヤーが、「H.264」「MJPEG」のコーデックに対応しているかどうかご確認ください。対応しているプレイヤーでも再生できない場合は、別の再生プレイヤーをインストールしてお試しください。

Q 天井に取り付けたところ、映像が反転してしまう

- 対処** カメラの設定画面を開き、設置角度を変更してください。
- ① カメラの設定画面を開きます。
 - ② 「ビデオ」→「映像設定」メニューを開きます。（「[映像設定](#)」P.61参照）
 - ③ 「カメラ設置角度」で「180°」を選択します。
 - ④ 「設定」をクリックします。

Q 表示される時刻があっていない

対処 カメラの電源を抜き差しし、再起動をおこなってください。
それでも時刻があっていない場合は、カメラのACCESSランプが点灯していることをご確認ください。
ACCESSランプが消灯している場合は、カメラがインターネットに接続されていません。[「外出先からカメラの視聴ができない」 P.85](#)などを参照し、カメラが外出先からも視聴できるよう設定してください。

Q パン・チルトが動作しない

対処 本製品の電源を切り、入れ直してみてください。
それでもパン・チルトが動作しない場合は、部品の消耗などによる故障の可能性があります。弊社修理センターへ本製品をお送りください。（[「修理を依頼する方法」 P.98](#)参照）

Q 操作パネルに表示されないボタンがある

対処 Internet Explorer以外のWebブラウザでは、すべての機能をご利用いただけません。
Internet Explorerをご使用ください。

設定画面の開き方

カメラの設定画面では、カメラの詳細な設定がおこなえます。

設定アプリ「Magical Finder」をダウンロードし、インストールして利用します。

※ IPアドレスはDHCPから取得になります。取得したIPアドレスは設定アプリ「Magical Finder」で確認できます。

※ 本手順は初めて「Magical Finder」をインストールする場合の手順です。

ヒント

カメラのファームウェアは最新版にアップデートしてください



カメラのファームウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。（「ファームウェアのバージョンアップ方法」P.49参照）

古いファームウェアをご利用の場合、本マニュアルの内容と表示される画面や機能が異なる場合があります。

Windowsの場合

- 1 Webブラウザを起動して以下のURLを入力またはクリックする
⇒Magical Finderのダウンロードページが開きます。

<http://www.iodata.jp/r/3022>

- 2 ご利用のOSを選択し、【ダウンロードページに進む】をクリック

- 3 【ダウンロード】 → 【保存】 → 【実行】 の順にクリック

- 4 デスクトップ上にできた【mfinderXXX】フォルダーを開き、【MagicalFinder.exe】をダブルクリック

※ XXXには数字が入ります。

※Windowsのファイアウォールの画面が表示された場合は、【アクセスを許可する】をクリックしてください。

⇒Magical Finderが開きます。

アカウントについて

各機能の使い方

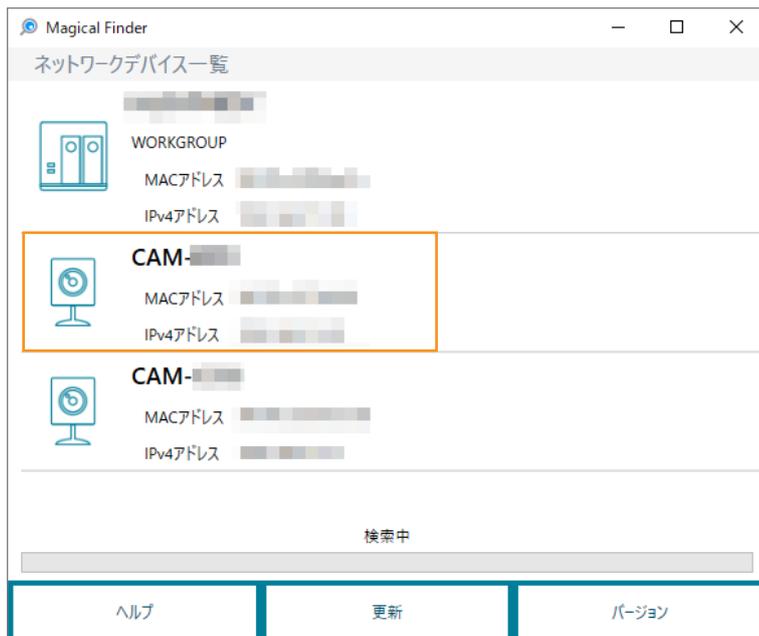
詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もくじに戻る

5 カメラ名をクリック



※ カメラのデバイス名は「CAM- (MACアドレス下4桁)」で表示されます。

※ カメラのMACアドレスは、カメラ背面のシール上に記載しています。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

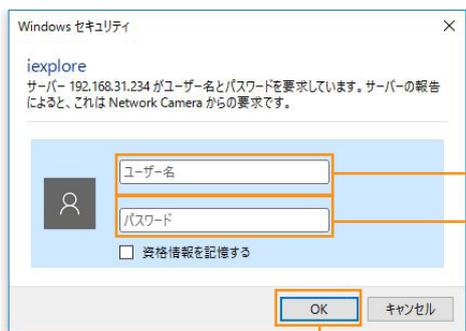
もくじに戻る

Q & A Magical Finderでカメラが検出されない場合

「情報の更新」をクリックします。また、セキュリティソフトがインストールされている場合は、一時的にセキュリティソフトの機能を停止・終了します。

6 本製品のMACアドレスをメモし、[Web設定画面を開く] をクリック





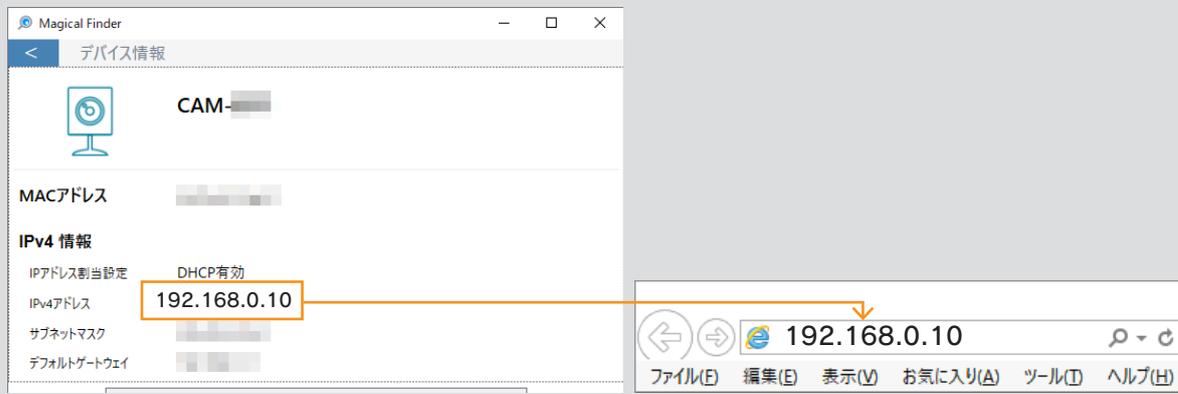
- ① ユーザー名に [admin] を入力
- ② パスワードに前ページ手順6でメモしたカメラのMACアドレス (12桁) を入力
 - ※ カメラのMACアドレスは、カメラ背面のシール上に記載しています。(大文字、半角英数字で入力)
 - ※ パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。
 - ※ 管理者権限以外でログインすると使用に制限があります。
(「ユーザー権限と概要」P.6参照)
- ③ [OK] をクリックします。

Q & A

ログインできない場合

- ① 前ページ手順6のMagical Finderの画面で、カメラのIPアドレス (IPv4アドレス) をご確認ください。
- ② Internet Explorerを開き、アドレスバーにカメラのIPアドレスを入力し、アクセスしてください。その後、手順8へお進みください。
※ Windows 10の場合、スタートメニューの [Windowsアクセサリ] から開きます。

(例：IPアドレスが192.168.0.10の場合、“192.168.0.10”を入力し、Enterキーを押す)



Q & A

本操作では「Internet Explorer」が開きます

「Internet Explorer」ではすべての機能がご利用いただけます。

Q & A

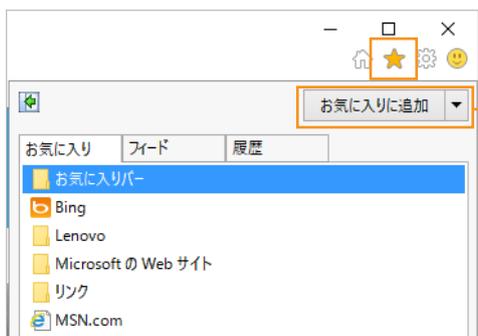
「Microsoft Edge」が開いた場合

最新バージョンの「Magical Finder」をダウンロードし、ご利用ください。

<http://www.iodata.jp/r/3022>

※ 「Microsoft Edge」は動作保証しておりません。すべての機能がご利用いただける「Internet Explorer」での使用を推奨しております。

8



開いたページをお気に入りに登録する

9

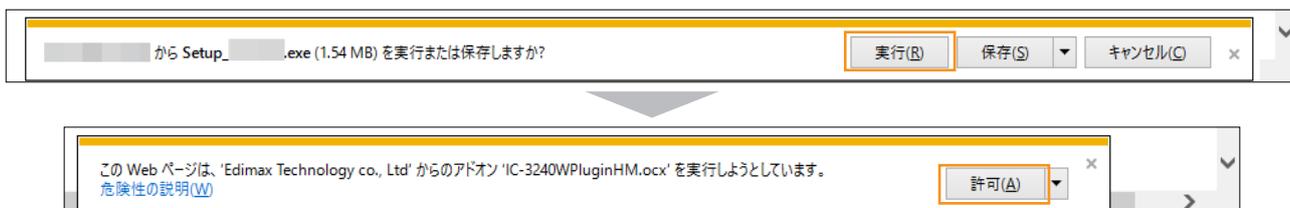
【ActiveXのダウンロード】をクリック

- ※ Internet Explorerを利用し、ご利用のパソコンで初めてカメラにアクセスした際、ActiveXのインストールが必要です。
- ※ すでにActiveXがインストールされている場合は、カメラの映像が表示されます。



10

画面の指示したがつて、【実行】→【はい】または【許可】の順にクリック



11

「Internet Explorerを閉じてからActiveXのインストールを行ってください」の画面が表示されたら、先に「Internet Explorer」を閉じ、その後【はい】をクリック



アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

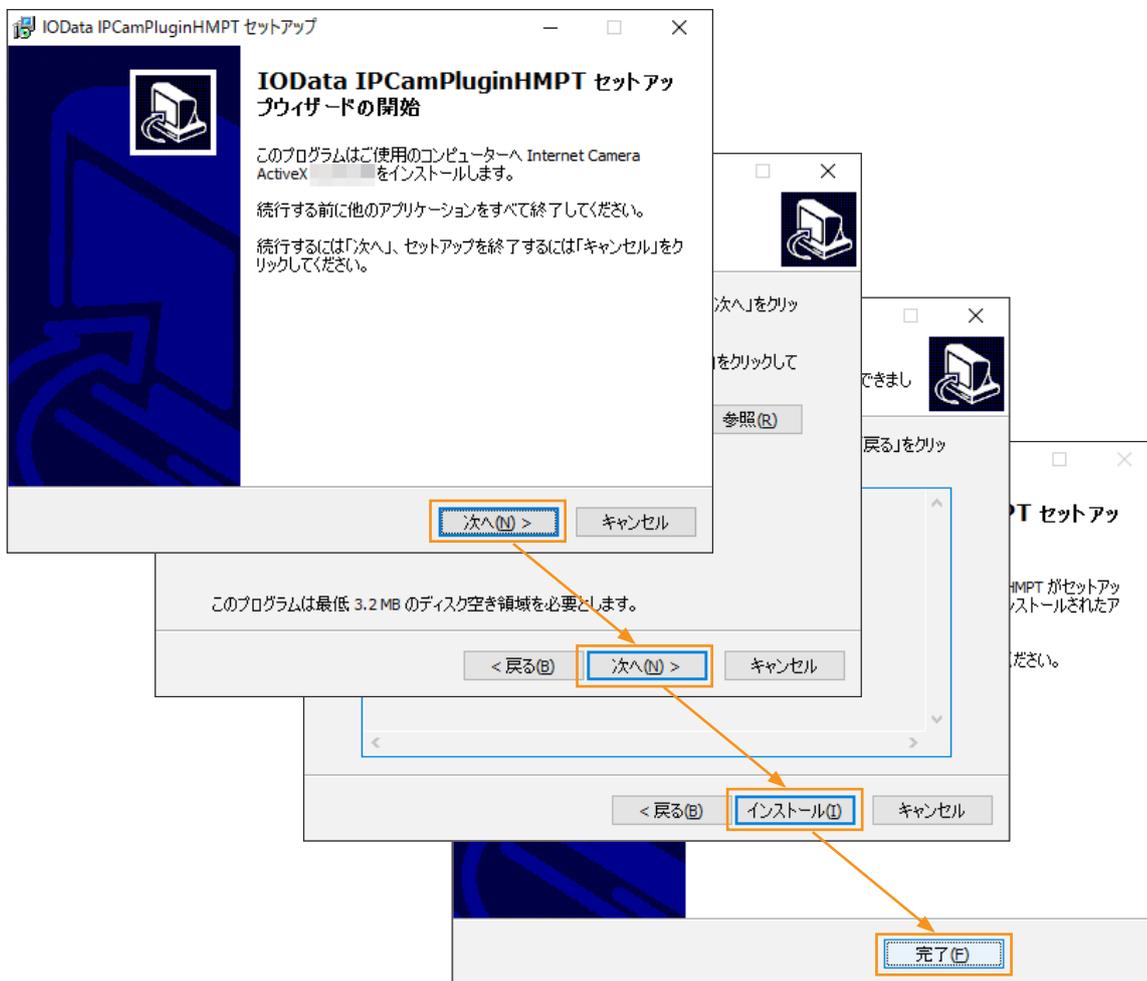
困ったときには

もくじに戻る

12 画面の指示にしたがって、[次へ] → [次へ] → [インストール] → [完了] の順にクリック

※ ご利用環境により「…はダウンロードしたユーザーの人数が少ないため、コンピューターに問題を起こす可能性があります」のメッセージが表示される場合がありますが、問題ありません。

[操作] → [実行] の順にクリックしてください。

**13** もう一度Internet Explorerを開く

※ Windows 10の場合、スタートボタン → [Windowsアクセサリ] → [Internet Explorer] の順にクリックして開きます。

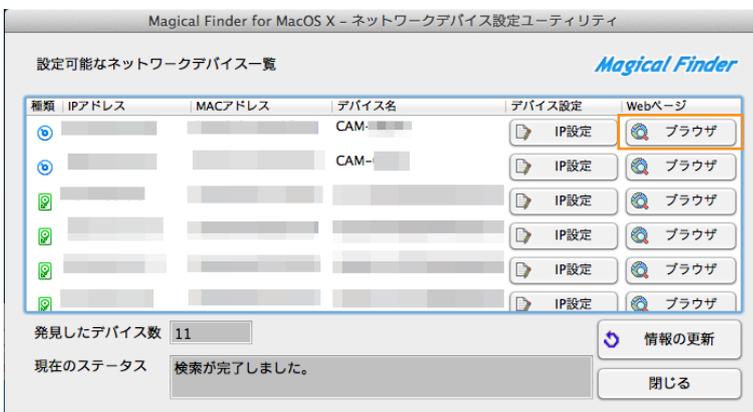
14 「このWebページは、…を実行しようとしています。」のメッセージが表示された場合、[許可] をクリック**15** カメラの映像が表示されたら、[設定] をクリック

⇒ 設定画面が表示されます。次回映像を表示する際は、[93 ページ 手順8](#)で登録したお気に入りから開いてください。

※ カメラ映像が表示されない場合は、Webブラウザを起動しなおしてください。

macOSの場合

- 1 Webブラウザを起動して以下のURLを入力またはクリックする
⇒Magical Finderのダウンロードページが開きます。
<http://www.iodata.jp/r/3022>
- 2 ご利用のOSを選択し、[ダウンロードページに進む] をクリック
- 3 [ダウンロード] をクリック
- 4 Dockの[ダウンロード] → [Magical_Finder_for_Mac_Ver_XXX.dmg] ファイルの順にダブルクリック ※ Xには数字が入ります。
- 5 デスクトップ上にあるダウンロードした [MagicalFinder for Mac XXX] (または [NO NAME]) → [Magical Finder] の順にダブルクリック ※ Xには数字が入ります。
- 6 インターネット上からのダウンロードファイルを開く場合の警告が表示された場合、[開く] をクリック
- 7 お使いのパソコンに設定してあるパスワードを入力し、[OK] をクリック
⇒Magical Finderが開きます。
- 8 デバイス名を確認し、カメラのブラウザボタンをクリック
※ カメラのデバイス名は「CAM- (MACアドレス下4桁)」で表示されます。
※ カメラのMACアドレスは、カメラ背面のシール上に記載しています。



Q & A

Magical Finderでカメラが検出されない場合

[情報の更新] をクリックします。また、セキュリティソフトがインストールされている場合は、一時的にセキュリティソフトの機能を停止・終了します。

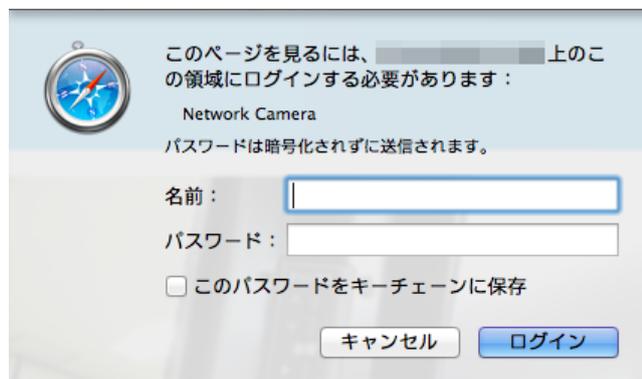
9

- ① ユーザー名に [admin] を入力
- ② パスワードにカメラのMACアドレス（12桁）を入力
- ③ [OK] をクリックします。

※ カメラのMACアドレスは、カメラ背面のシール上に記載しています。（大文字、半角英数字で入力）

※ パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。

※ 管理者権限以外でログインすると使用に制限があります。（[「ユーザー権限と概要」P.6参照](#)）



10

カメラの映像が表示されたら、[設定] をクリック

⇒ 設定画面が表示されます。

※ カメラ映像が表示されない場合は、Webブラウザを起動しなおしてください。

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリフレッシュ

困ったときには

もぐりを見る

アフターサービスについて

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<http://www.iodata.jp/privacy.htm>) に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

弊社サポートページにて、以下をご確認ください

▼ 弊社サポートページ

<http://www.iodata.jp/support/qa/camera/>



- 1 「困ったときには」を参照 (83 ページ参照)
- 2 「Q&A よくあるご質問」を参照
- 3 最新のソフトウェアをダウンロード



それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話 ▶ **050-3116-3014**

受付時間 9:00～17:00 月～日曜日(年末年始・夏期休業期間をのぞく)

インターネット ▶ <http://www.iodata.jp/support/>

※ご用意いただく情報▶ 製品情報(製品名、シリアル番号など)、PCや接続機器の情報(型番、OSなど)

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

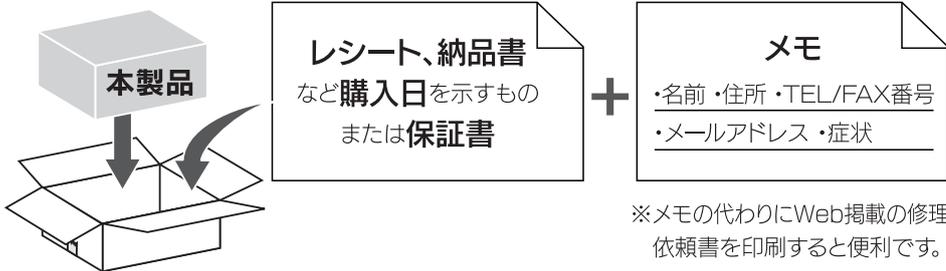
もくじに戻る

保証期間

1 年間

修理を依頼する方法

以下を梱包し、修理センターへお送りください



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- ※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
- ※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
- ※送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。

【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。

【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。

【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。

【控え】製品名とシリアル番号 (S/N) はお手元に控えておいてください。

【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください(修理依頼書はここから印刷できます)。

<http://www.iodata.jp/support/after/>

アカウントについて

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もぐじに戻る

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じて、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
- 5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

【使用ソフトウェアについて】

本製品には、GNU General Public License Version 2.0 June 1991に基づいた、ソフトウェアが含まれています。変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下のWebページをご確認ください。

<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【商標について】

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。